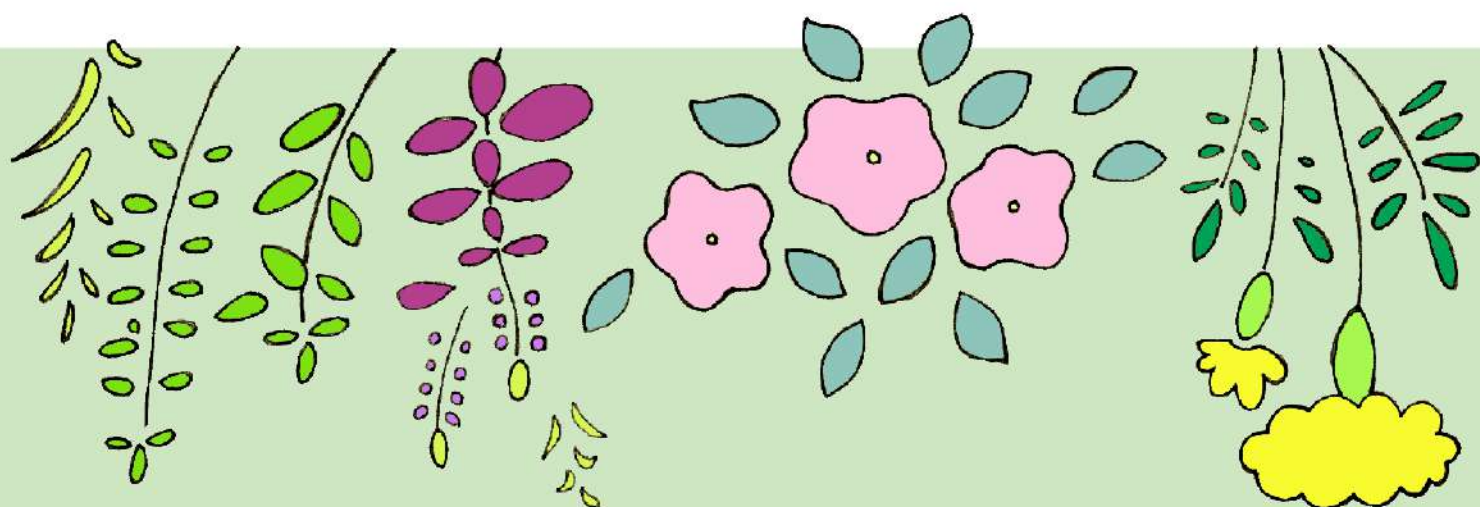
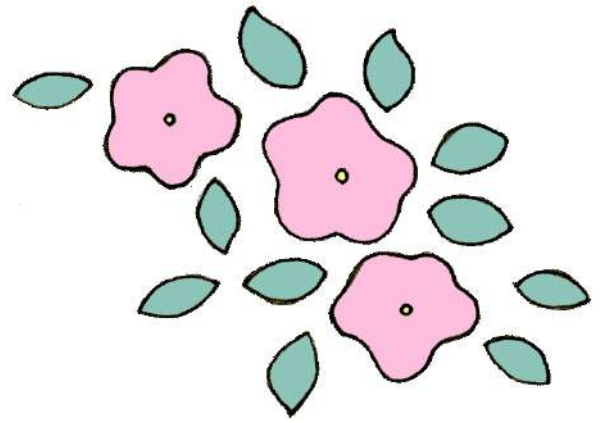




夏花による緑化マニュアル

—夏期（6月～9月）観賞を可能に—

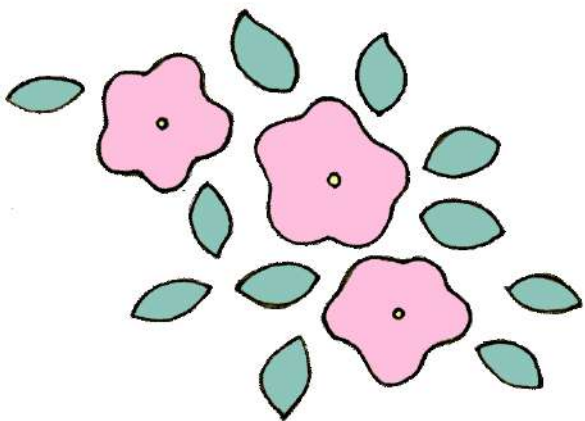




はじめに

本マニュアルは、これまで生産や利用が少なかった夏の高温期（6～9月）も景観性の高い緑化を実現することを目的に、生産者、デザイナーや緑化施工・管理など緑化に携わる方々を対象に作成しました。花材を花壇苗、カラーリーフ、グランドカバー、つる植物、球根植物に分類し、花色、葉色、草姿などから、様々な利用場面に応じて必要な情報を引き出せる構成としました。また、各論では園芸品種の基本的な特性に加え、生産状況、入手規格、利用方法、耐乾性や耐陰性などもとりまとめました。その中では、施工・管理上の留意点についても触れています。さらに、補足資料として、高温期の植栽にあたって必要な技術的課題に関するこれまでの研究成果も記載しました。

このマニュアルが、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会はもとより、その後に続くレガシーとして、夏花による緑化施工場面で多くの方々に活用されることを期待します。これらを通じ、暑い時期にも街全体が花と緑で溢れ、多くの人々の心が癒されることを切に願います。



目次 — 花壇苗 —

頁	花壇適性	品目	花（果）色					耐雨性 強● 中● 弱○	耐乾性 強● 中● 弱○	耐陰性 強■ 中■ 弱□	草姿				
			白	ピンク	赤	黄・オレンジ	青・紫				その他	横に大きく伸長 ↔	縦に大きく伸長 ↕	全体に小さく伸長 ↗↘	全体に大きく伸長 ↗↘
1		アゲラタム	○	●			●		●	■		●	●		
2		アサガオ（わい性種）		●	●		●	茶	●	●	■	●			
3	◎	アングロニア	○	●			●		●	●	■			●	
4		カリブラコア	○	●	●	●	●	複	●	●	■	●			
5	◎	カンナ	○	●	●	●			●	●	■			●	
6		クレオメ	○	●			●		●	●	■			●	
7	◎	ケイトウ（セロシア）		●	●	●	●		○	●	■			●	
8		サルビア	○	●	●	●	●		●	○	■		●	●	
9		ジニア（ハクニチソウ）	○	●	●	●		複	●	○	■		●	●	
10	◎	センニチコウ	○	●	●		●		●	●	■			●	
11	◎	トウガラシ	○	●	●	●	●	黒	●	●	■			●	
12	◎	トレニア	○	●	●	●	●	複	●	●	■	●		●	
13		ナデシコ（ダイアンサス）	○	●	●		●	複	●	●	□		●	●	
14		ニューギニアインパチェンス	○	●	●	●	●		●	○	■			●	
15	◎	ピンカ（ニチニチソウ）	○	●	●	●	●	複	●	●	■	●		●	
16	◎	ベゴニア	○	●	●	●			●	●	■			●	
17		ペチュニア	○	●	●	●	●	複	○	●	■	●		●	
18	◎	ペンタス	○	●	●		●	複	●	●	■			●	
19	◎	ポーチュラカ	○	●	●	●		複	●	●	■	●			
20	◎	マツバボタン	○	●	●	●			●	●	■	●			
21		マリーゴールド	○		●	●		複	●	●	■			●	
22		メカルドニア				●			●	●	□	●			
23	◎	メランポジウム				●			●	●	■			●	
24	◎	ユーフォルビア	○						●	●	■			●	
25	◎	ランタナ	○	●	●	●	●	複	●	●	■	●		●	
26		ルドベキア			●	●		複	●	●	■			●	

※） 複：複色

草姿：植え付けからどのように成長するかを分類した。品種間差がある場合は複数記載。例えば、アゲラタムは縦に伸長しやすい品種と全体にゆっくり伸長するわい性種がある

ー カラーリーフ・グランドカバー ー

頁	花壇適性	品目	葉色						耐雨性	耐乾性	耐陰性	草姿			
			緑	黄・黄緑	銅(赤褐色)	白・銀	黒	斑入り	強 中 弱	強 中 弱	強 中 弱	横に大きく伸長	縦に大きく伸長	全体に小さく伸長	全体に大きく伸長
27	◎	アベリア	●	●	●			○	●	●	■			●	●
28	◎	イソレピス	●						●	●	■			●	
29	◎	イボメア	●	●	●		●	○	●	●	■	●			
30	◎	エラグロスティス	●						●	●	□				●
31	◎	エリゲロン	●						●	●	■	●			
32		オレガノ	●		●		●	○	○	●	■	●	●		
33	◎	カレックス	●	●	●	○		○	●	●	■			●	
34	◎	ケイトウ(晩生種)	●		●				●	●	□			●	●
35	◎	コキア	●	●					●	●	■			●	●
36	◎	コリウス	●	●	●			○	●	●	■			●	●
37		コリネフォラス	●						●	●	□			●	
38		コロカシア	●				●	○	●	●	■				●
39		ジャノヒゲ	●	●			●	○	●	●	■			●	
40	◎	スティパ	●						●	●	■			●	
41		タイム	●			○		○	●	●	■	●		●	
42	◎	ツルマサキ	●	●				○	●	●	■	●			
43		ナンテン(わい性種)	●		●			○	●	●	■			●	
44		ニューサイラン	●	●	●		●	○	●	●	■		●		
45	◎	ハゲイトウ(アマランサス)	●	●	●			○	○	●	□		●		
46		ハツユキソウ	●					○	●	●	■			●	●
47	◎	ヒポエステス	●		●			○	●	●	■			●	
48	◎	ヒメイワダレソウ	●						●	●	□	●			
49		ヒメマサキ	●	●				○	●	●	■			●	
50		ヘリクリサム	●			○			○	●	■			●	
51	◎	ミレット	●		●		●		●	●	□		●		
52		ヤブラン	●			○		○	●	●	■			●	
53	◎	ユンカス	●						●	●	■		●		
54		ローズマリー	●			○		○	●	●	■	●	●	●	●
55	◎	ロニセラ	●	●				○	●	●	■	●		●	

— つる植物 —

頁	花壇適性	品目	花色						耐雨性	耐乾性	耐陰性
			白	ピンク	赤	黄・オレンジ	青・紫	その他			
56		アサガオ（つる性種）	○	●	●		●	茶	●	●	■
57		アサリナ	○	●			●		●	●	□
58	◎	スネールフラワー					●		●	●	■
59		ツンベルギア アラタ	○			●			●	●	□
60	◎	ミナ ロバータ	○		●	●			●	●	□
61		ルコウソウ	○	●	●				●	●	□

— 球根植物 —

頁	花壇適性	品目	花（葉）色						耐雨性	耐乾性	耐陰性	草姿			
			白	ピンク	赤	黄・オレンジ	青・紫	その他				横に大きく伸長	縦に大きく伸長	全体に小さく伸長	全体に大きく伸長
62		アジアティック系ユリ	○	●	●	●			●	●	□		●		
63		LA系ユリ	○	●	●	●			●	●	□		●		
64		オリエンタル系ユリ	○	●	●				●	●	□		●		
65		カラジウム	○ (葉色)	● (葉色)	● (葉色)				●	●	■				●
66	◎	グラジオラス	○	●	●	●	●	複	●	●	□		●		
67	◎	クルクマ	○	●					●	●	□		●		
68	◎	ゼフィランサス	○	●		●			●	●	■			●	
69	◎	ハブランサス		●					●	●	■			●	
70		ユーコミス	○	●		●		黄緑	●	●	■		●		

※) 花壇適性

◎：直射日光が当たるところでも生育旺盛で、暑さに特に強い

耐雨性 強：連続した降雨で葉や花に傷み、病気が発生しにくい
中：上記条件で発生が比較的少ない
弱：上記条件で発生が多い

耐乾性 強：長期間(1週間おき灌水条件)の乾燥に耐える
中：上記条件で一部枯死
弱：上記条件で完全枯死

耐陰性 強：半日および終日の日陰でも観賞性が保たれる
中：半日の日陰は問題ないが、終日の日陰で極端に観賞性が低下する
弱：半日の日陰で極端に観賞性が低下する

※) これらは露地(地植え)を想定して評価したものである

各論の見方

花材の分類

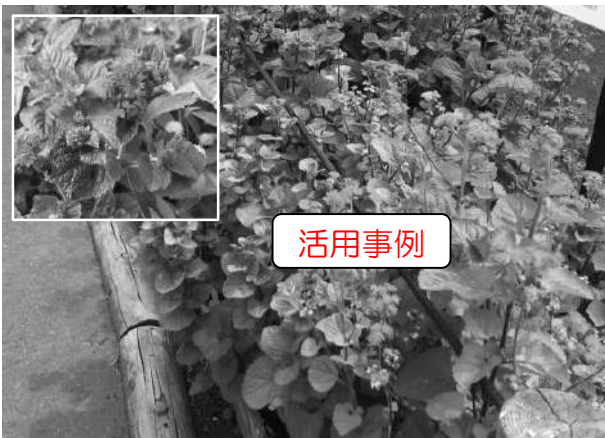
花壇苗

品目

学名：属

科

アゲラタム *Ageratum* キク科



活用事例

花色・葉色

夏の暑さに強く、連続開花性がある。花は先端部にまとまって開花する。花色は白色と紫。高性種の「ハワイ」シリーズと高性種の「トップブルー」シリーズなどがある。

品目・品種の特性

出荷時期は
需要期を記載

出荷時期
4～6月

出荷量： 少

耐候性

耐雨性	強
判断の基準は 前ページに記載	
耐陰性	中

入手規格

単植：1株でも存在感があり、見栄えがするため、単独、あるいは複数で植える。寄せ植えではメインとなる

混植：単独では見栄えがしないので、ある程度まとめて植える

グランドカバー：草丈が低く、横に広がる性質が強く、地を覆う目的で植える

栽培事例と栽培上の留意点

「アロハブルー」（生）

栽培事例
(加温は鉢上げ
後の最大温度)



加温：10℃

(球根植物以外) ○：播種、△：鉢上げ、□：出荷、☆：挿し木・株分け

(球根植物) ▲：仮植、●：鉢上げ、■：花壇への植え付け、◆：開花

栽培において
特に注意すること

草姿	立性
利用法	混植
花径	
観賞期草丈	
観賞期株張	
開花性	
開花期間	6～9月

観賞期草丈、株張は2015～2018年の調査結果(9月)をもとに作成。ただし、1年だけの結果も含む

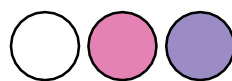
開花期間は
6～9月のみ記載

効果的な使用方法と留意点

わい性種(「ハワイ」シリーズ)は花壇最前面での利用に向く。開花連続性に優れ、密植可能。高性種(「トップブルー」シリーズ)は花壇奥での利用に向く。高性種は日照量が少なくなると花数が少なくなるので植栽場所の日照量に注意が必要。高性種は摘み残りの花がらが残るので、摘んだほうが見た目はきれい。高温多湿に弱く、大きくなり混んできたら切り戻すとよい。

利用・管理の方法、
留意点など

アゲラタム *Ageratum* キク科



夏の暑さに強く、開花連続性がある。花は先端部にまとまって開花する。花色は白色と紫色が主である。わい性種の「ハワイ」シリーズと高性種の「トップブルー」シリーズなどがある。

生産状況

出荷時期

4 ～ 6 月

出荷量： 少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 3.5 寸
草丈	15 ～ 30 cm
株張	15 ～ 25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「アロハブルー」（生産地：東京）



加温：10℃
換気：20℃

多肥で花つきが悪くなるため、施肥は控えめで、乾燥気味に管理。アブラムシ、ハダニ、コナジラミが発生しやすい。

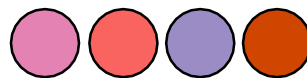
利用場面

草姿	立性
利用法	混植
花径	1.5 cm（房咲き）
観賞期草丈	20 ～ 60 cm
観賞期株張	20 ～ 40 cm
開花性	連続
開花期間	6 ～ 9 月

効果的な使用方法と留意点

わい性種（「ハワイ」シリーズ）は花壇最前面での利用に向く。開花連続性に優れ、密植可能。高性種（「トップブルー」など）はボーダー的な利用法もあるが、日照量が少なくなると花数が少なくなるので植栽場所に注意する。開花後の花がらが残るので、摘んだほうが見た目はきれい。高温多湿に弱く、大きくなり混んできたら切り戻すとよい。

アサガオ（わい性種） *Ipomoea nil* ヒルガオ科



「和」を感じさせる代表的な植物。花壇やコンテナ植栽には、わい性でつる巻き性質のない「サンスマイル」シリーズがある。花色にはピンク、赤、紫系以外に茶色がある。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～6寸
草丈	10～20cm
株張	10～20cm

栽培事例と栽培上の留意点

「サンスマイル 混合」（生産地：東京）



加湿：18℃
換気：30℃

水はけの良い用土を用い、灌水は葉が萎れたらたっぷりと行なう。出荷1か月前の温度（18℃以上）と肥培管理（肥切れさせない）に注意する。

利用場面

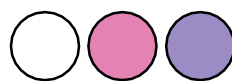
草姿	ほふく性
利用法	グラウンドカバー
花径	10cm
観賞期草丈	20～30cm
観賞期株張	50～100cm
開花性	連続
開花期間	7～9月

効果的な使用方法と留意点

「サンスマイル」は「姫」と呼ばれるわい性遺伝子を持つ系統で、各色の混合種子が市販されている。仕上鉢に定植された開花株で流通することが多いため、花壇植栽で大量に用いる場合には、予約が望ましい。肥切れや乾燥は葉の黄化を助長し、8月中旬以降はヨトウムシやタバコガの食害に注意したい。

アンゲロニア

Angelonia オオバコ科



高温多湿条件でも生育旺盛で、花は下から順番に開花する（穂状）。花色は、白、ピンク、紫色のみであるが濃淡を含めると各シリーズ5色程度は色幅がある。一般に、種子系よりも栄養系の方が生育旺盛で花が大きい。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3.5 ～ 4 寸
草丈	25 ～ 30 cm
株張	20 ～ 35 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「セレニータ ホワイト」（生産地：東京）



加温：18℃
換気：25℃

初期は肥料を控えめで後半に増やす。低温で生育が遅れるため、温度を高め（18℃以上）にする。ハダニが発生しやすい。

利用場面

草姿	立性
利用法	混植
花径	1.5 ～ 2.5 cm
観賞期草丈	30 ～ 70 cm
観賞期株張	35 ～ 65 cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

わい性種（「セレニータ」など）は花壇最前面での利用に向く。栄養系（「アークエンジェル」など）は花が大きく強健。密植し、ボーダー的な利用法もあるが、日照量が少ないと花数が少なくなるので広めに植える。ハダニが発生しやすいので、葉の上から灌水するなどする。花が少なくなったら切り戻すことで復活させることができる。

カリブラコア

Calibrachoa ナス科



ペチュニアよりも高温多湿条件に強く花数が多く作りやすい。品種改良が盛んで、様々な花色のものが出回っている。草姿もほふく性～立性まで幅広い。べたつかず、扱いが容易である。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中

耐候性

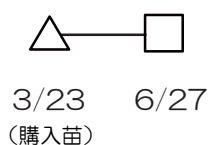
耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	10～20cm
株張	15～25cm

栽培事例と栽培上の留意点

「シャル・ウィ・ダンス ライトピンク」
(生産地：東京)



加温：なし
換気：15℃

遮光が強すぎると徒長しやすいので光環境に気をつける。肥料は多めに施用する。摘心し基部からの発生を促すと良い。

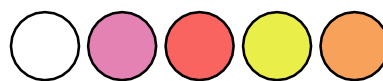
利用場面

草姿	ほふく性～立性
利用法	グラウンドカバー
花径	2～3cm
観賞期草丈	15～30cm
観賞期株張	40～70cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

横に広がるため地面を被覆するように利用する。ペチュニアよりも降雨には強いが、過湿になると下葉が枯れあがってくる。梅雨時に切り戻すと長く楽しめる。1株でも十分生育するので、株間はやや広めにとるようにする。花がらをこまめに摘むと灰色かび病など病気の発生が防げる。

カンナ *Canna* カンナ科



種子系と球根系がある。花は大きく、目立ち、花色も多彩である。葉色も多様で斑入りや銅葉などがあり、葉を楽しむ品種「ビュー」シリーズは有名である。

生産状況

出荷時期

4～6月

出荷量：極小

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3.5～4寸 (球根もあり)
草丈	20～40 cm
株張	20～30 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「サウスパシフィック スカーレット」
(生産地：東京)



加温：なし
換気：22℃

硬実種子のため、表皮未処理の場合は表皮を傷つけてから播種する。鉢上げ時はやや深めに植えつける。過湿気味に管理する。

利用場面

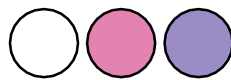
草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	10～15 cm
観賞期草丈	40～200 cm
観賞期株張	50～100 cm
開花性	連続
開花期間	7～9月

効果的な使用方法と留意点

暑さ、乾燥に強く、水が少ない場所でも枯れることはないが、生育が停滞する。株を充実させるためには、過湿条件が適する。株元から分枝した新しい芽が連続して出て花がつく。花が大きく目立つので、密植ではなく、アクセントとして使用しても良い。種子を持つ前に花がらを除去した方が株は弱らない。

クレオメ

Cleome フウチョウソウ科



熱帯原産。長い雄しべ4本と雌しべ1本が花外に突出するユニークな花を形成し、花姿が蝶に似ていることから西洋風蝶草（セイヨウフウチョウソウ）とも呼ばれる。ハイマダラノメイガの誘致植物やバンカープランツとしても利用されている。

生産状況

出荷時期

6～7月

出荷量：極小

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	30～50cm
株張	20～30cm

栽培事例と栽培上の留意点

「カラーファウンティン 混合」
(生産地：東京)

○ — △ — □
4/4 4/21 6/27

加温：15℃
換気：30℃

直根性で移植を好まないため、なるべく若いうちに鉢上げをする。過湿に弱いため、水はけの良い用土を用いるとともに多灌水に気をつける。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	3～4cm
観賞期草丈	70～150cm
観賞期株張	60～80cm
開花性	連続
開花期間	7～9月

効果的な使用方法と留意点

草勢が強く大型で侵食性が高いため、小型で日当たりを好む植物との混植は避ける。まとめて植えると目立って見た目がきれい。乾燥には強いが過湿に弱いため、水はけの悪いところでは根腐れが起こる。茎にとげがあるため、管理するときに気をつける。条件が良いと草丈が150cm以上となるため、倒伏が心配される場合は支柱などで補強する。

ケイトウ（セロシア） *Celosia* ヒユ科



花壇苗として利用されるのは羽毛咲き種で、緑葉と銅葉系がある。最近は混色で多粒播きし、ロウソク状に見立てたものが市場に出回る。そのほか、中高性の穂が槍状のノゲイトウ系も人気がある。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中～多

耐候性

耐雨性	弱
耐乾性	中
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	20～40cm
株張	20～35cm

栽培事例と栽培上の留意点

「スマートルック レッド」
(生産地：東京)



加温：なし
換気：20℃

多肥で茎が太くなりすぎるため肥料はやや控える。鉢上げ後摘心するとボリュームがでる。アブラムシに注意する。

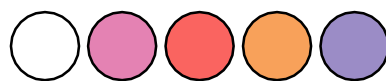
利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
観賞期草丈	25～80cm
観賞期株張	25～60cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

暑さ、乾燥に比較的強いが、過湿に弱いので、水はけの良いところに植えつける。わい性種は花壇前面に密植し混植で使用する。中高性種（ノゲイトウ）は花壇の後方で密植せず、花壇の中のアクセントとして使用すると良い。緑葉よりも銅葉系の方が暑さに強い傾向にある。9月からシロオビノメイガが多発するので注意する。

サルビア *Salvia* シソ科



赤、紫系のスプレンドゥス種や青、青白系のファリナセア種などが有名だが、最近では花穂が長く分枝性に優れるコクシネア種も出回るようになった。わい性から高性まで草丈も様々である。

生産状況

出荷時期

4 ～ 7 月

出荷量： 中

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	弱
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 4 寸
草丈	20 ～ 50 cm
株張	20 ～ 40 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ビスタ レッド」（生産地：東京）

○ — △ — □
3/27 4/17 6/13

加温：7℃
換気：20℃

蒸れない程度に水管理を行なう。リン酸の肥効が高いので不足しないようにする。ハダニとアザミウマに注意する。

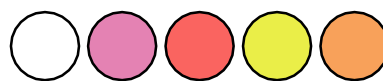
利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
観賞期草丈	40 ～ 100 cm
観賞期株張	40 ～ 90 cm
開花性	連続
開花期間	6 ～ 9 月

効果的な使用方法と留意点

寄せ植え花壇やボーダーなどで利用され、草丈が高くなる種を除き、まとめて植える方がきれいに見えて効果的である。過湿による蒸れで下葉から枯れ上がるので水はけの良い土壌に植えたほうが良い。開花が進むと花数が少なくなるので切り戻すと長く花が楽しめる。うどんこ病やハダニ被害に注意する。

ジニア（ヒャクニチソウ） *Zinnia* キク科



花色、花型は豊富で、一重から八重まで多くの種類が販売されている。花の大きさも小輪のプチランド系から大輪のスウィズル系まで幅広い。一部品種では斑点細菌病やうどんこ病に弱い。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中～多

耐候性

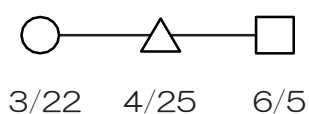
耐雨性	中
耐乾性	弱
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	15～30cm
株張	20～35cm

栽培事例と栽培上の留意点

「プチランド ホワイト」（生産地：東京）



加温：なし
換気：22℃

過湿や密植で徒長したり、うどんこ病の発生が助長されるため早めのスペーシングに心掛ける。生育が早く、後半に乾きやすい。

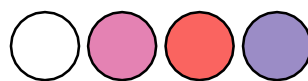
利用場面

草姿	立性
利用法	混植
花径	4～9cm
観賞期草丈	30～50cm
観賞期株張	40～60cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

暑い時期でも連続開花し生育旺盛だが、強い乾燥で生育が停滞・枯れ上がり花が退色する。耐陰性はあるが、日照量が少ないと花卉がよれて展開する。分枝の良い品種では1株でも十分生育するので株間を広くとる。大きくなり過ぎたら株の1/3～半分程度で切り戻すと良い。花がらは灰色かび病の発生源となるため取り除くことが望ましい。

センニチコウ

Gomphrena ヒユ科

わい性種から高性種まである。いずれの品種も強健で揃いが良く栽培が容易である。グローバーサ種が主流であるが、鮮紅色のハーゲアナ種（高性）もある。花壇、切り花、ドライフラワーで利用されている。

生産状況

出荷時期

3～6月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 3.5 寸
草丈	15 ～ 40 cm
株張	15 ～ 20 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ネオン ローズ」（生産地：東京）

○ — △ — □
3/30 4/18 6/12

加温：17℃
換気：22℃

過湿に弱いのでやや渇き気味に管理する。湿度が高いと赤紫色の斑点が葉に出るので（斑葉病、*Alternaria*）殺菌剤で防除する。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	1 ～ 2 cm
観賞期草丈	30 ～ 80 cm
観賞期株張	25 ～ 60 cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

分枝が良く、開花期間も長いため、コンテナやガーデンの縁取りに向く。わい性種は寄せ植えで利用されることが多い。高性種は花壇後方のアクセントとして利用してもおもしろい。日当たりが良くやや乾燥したところを好む。高性種は窒素過多で軟弱徒長し強風で倒伏しやすくなるので注意する。

トウガラシ

Capsicum ナス科



高温条件でも生育旺盛で、基本的には頂点に結実する。果実が細長いタイプ、円錐型、丸型など様々である。色変わりするタイプが人気。果実が黒色で、強光と高温で葉色も黒くなる品種もある。

生産状況

出荷時期

6～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性 中

耐乾性 強

耐陰性 中

入手規格

ポットサイズ 3～3.5寸

草丈 20～30cm

株張 25～35cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ブラックパール」（生産地：東京）

○ — △ — □
3/18 4/26 7/27

加湿：なし
換気：22℃

多くの光を要求する。乾燥や肥切れで生育が遅延する。結実したら多めの追肥が必要である。アブラムシ防除は必須である。

利用場面

草姿 立性

利用法 単植、混植

果径 1～4cm

観賞期草丈 30～80cm

観賞期株張 40～60cm

開花性 連続

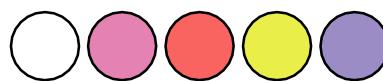
開花期間 6～9月

効果的な使用方法と留意点

暑さや乾燥に強く、生育も旺盛である。1株でも存在感があるため、花壇の中のアクセントとして使用されることが多い。また、コンテナや鉢植えでの寄せ植え材料として使用される。乾燥に強いが、多湿にならないように気を付ける。アブラムシやハダニが付きやすいのでこまめに観察し早めに防除する。

トレニア

Torenia アゼナ科



ナツスミレという別名が示すように暑さに強い。分枝が良く強健で大株となる。開花揃いが良い。花色はピンクと紫が中心だが、黄色系の品種も販売されている。

生産状況

出荷時期

4 ～ 6 月

出荷量： 中

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 3.5 寸
草丈	20 ～ 35 cm
株張	20 ～ 40 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「サイクロン ホワイト」（生産地：東京）



加温：なし
換気：23℃

過湿で徒長や立ち枯れ病が発生するため乾燥気味に管理する。また徒長やうどんこ病の発生を防ぐため早めに株を広げる。

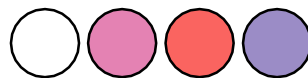
利用場面

草姿	ほふく性 ～ 立性
利用法	混植、グラウンドカバー
花径	3 ～ 4 cm
観賞期草丈	30 ～ 40 cm
観賞期株張	40 ～ 60 cm
開花性	連続（鉢植えは断続）
開花期間	6 ～ 9 月

効果的な使用方法と留意点

葉や花の淡い色が多く爽やかな印象を与える。ほふく性タイプの品種はグラウンドカバーとして、立性タイプの品種は花壇の寄せ植えやコンテナ、花壇の前面で使用される。耐陰性が強く、日照量が少なくても花は咲くが花数は減る。鉢植えでは、根詰まりで花が休むため、摘心して側枝の発達を促すと良い。

ナデシコ（ダイアンサス） *Dianthus* ナデシコ科



高温多湿でも生育旺盛で、花は先端部に上向き開花する。「テルスター」など四季咲き品種は周年出荷可能だが耐暑性がない。一方、美女なでしこ系（「ジョルト」シリーズなど）は耐暑性に優れる。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5寸
草丈	20～30cm
株張	25～35cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ジョルト ピンク」（生産地：東京）



加温：なし
換気：15℃

過湿、乾燥にも耐えるが、表面が乾いたら灌水を行なうようにする。栽培後半は乾きやすくなる。アザミウマやハダニに注意する。

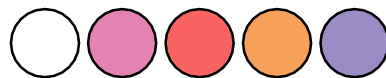
利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	3～4cm（房咲きあり）
観賞期草丈	30～45cm
観賞期株張	40～60cm
開花性	連続（わい性種は断続）
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

「ジョルト」シリーズは40cm程度の草丈となるため、花壇の中段での利用に向く。分枝が良く連続開花するため、通常より若干広めに植えても良い。開花期間は長く、露地でも越冬可能。多く出回る「テルスター」系（わい性、四季咲き性）は開花に波があり、摘心をこまめに行う必要がある。

ニューギニアインパチェンス *Impatiens × hawkeri* ツリフネソウ科



インパチェンス（アフリカハウセンカ）と比べ生育旺盛で、花が大きい。葉に黄色斑が入る品種や花弁に筋が入る品種もある。夏の暑さに強く改良された「サンパチェンス」シリーズなどがある。

生産状況

出荷時期

4 ～ 7 月

出荷量： 少

耐候性

耐雨性	強
-----	---

耐乾性	弱
-----	---

耐陰性	強
-----	---

入手規格

ポットサイズ	3.5 ～ 6 寸
--------	-----------

草丈	20 ～ 30 cm
----	------------

株張	25 ～ 35 cm
----	------------

栽培事例と栽培上の留意点

「ディバイン ラベンダー」
(生産地：東京)

○ — △ — □
3/20 5/5 6/27

加温：20℃
換気：30℃

播種、育苗など栽培中は温度管理に気をつける。低温で生育が停滞し開花が遅れる。乾燥や肥料切れで下葉が黄化する。

利用場面

草姿	立性
----	----

利用法	単植、混植
-----	-------

花径	3 ～ 6 cm
----	----------

観賞期草丈	25 ～ 65 cm
-------	------------

観賞期株張	30 ～ 50 cm
-------	------------

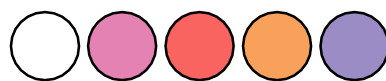
開花性	連続
-----	----

開花期間	6 ～ 9 月
------	---------

効果的な使用方法と留意点

1 株でも存在感があり、寄せ植えのメイン素材、単色での寄せ植えで利用される。乾燥で葉と蕾が落ちるため、高温期はほぼ毎日灌水する。一方過湿には強く根腐れすることは少ない。夏花の中では耐陰性が強く、日当たりが悪くても花数は極端に少なくなる。下葉が枯れあがったり、花が終わった株は半分程度切り戻すと復活する。

ビンカ（ニチニチソウ） *Catharanthus* キョウチクトウ科



高温乾燥に強く夏を代表する花。栽培が容易で分枝数が多く、種子系や栄養系、立性やほふく性など多様な品種が出回る。極端な過湿条件では、根腐れや下葉の黄化が生じる。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～3.5寸
草丈	20～40cm
株張	15～35cm

栽培事例と栽培上の留意点

「サンダーレッド」（生産地：東京）

○ — △ — □
3/11 4/20 6/13

加温：15℃
換気：20℃

複数本定植し、摘心する栽培が主流。鉢上げ後温度が低いと根の張りが極端に悪くなるため、最低15℃を維持する。

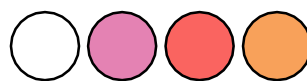
利用場面

草姿	ほふく性～立性
利用法	混植、グランドカバー
花径	2～7cm
観賞期草丈	30～60cm
観賞期株張	40～60cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

ほふく性種は寄せ植えやハンギング、地表面をカバーするのに利用可能。わい性種は揃いが良く、広い面積を景観形成するのに利用できる。密植しても次々と花はつくが、上方へ徒長してしまうので日当たりの悪いところではやや広めに植える。多肥では花が少なくなる。株が込み合ってきたら切り戻すとよい。秋口にはアブラムシに注意する。

ベゴニア

Begonia シュウカイドウ科

暑さ乾燥に強く、春から秋まで長期間花を楽しむ。わい性種センパフローレンスは定番だが、最近はやより耐暑性に優れる「ワッパー」シリーズなど巨大輪種が多く出されている。その他、銅葉系の品種もある。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 強

耐陰性 強

入手規格

ポットサイズ 3～6寸

草丈 10～25 cm

株張 15～25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「セネタIQ ホワイト」（生産地：東京）

○ — △ — □
3/11 4/25 6/13

加温：7℃
換気：20℃

育苗初期に追肥が遅れるとその後の生育が極端に遅れるので早めに追肥する。過湿で根腐れが生じるので水管理に注意する。

利用場面

草姿 立性

利用法 単植、混植

花径 2～7 cm

観賞期草丈 20～70 cm

観賞期株張 25～45 cm

開花性 連続

開花期間 6～9月

効果的な使用方法と留意点

多く流通しているベゴニア・センパフローレンス種は揃いが良く、広く景観形成するのに利用する。色合いが明るいため混植や鉢の寄せ植えにも適する。乾燥に強く、長雨でも株は傷みにくいが、花がらが葉の上に残ると灰色かび病が発生する。木立性のベゴニアは、生育が早く花が大きいいため花壇の後方的利用やアクセントして使うと良い。

ペチュニア

Petunia ナス科



直射日光に強く乾燥にも比較的強いが、過湿に弱く、耐雨性を付与した小輪多花系の品種改良が進んでいる。花色、花型が豊富。栽培が容易で分枝数が多く、種子系や栄養系、立性やほふく性など多様な品種が出回る。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性	弱
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～6寸
草丈	10～20cm
株張	20～50cm

栽培事例と栽培上の留意点

「スプレッド ホワイト」（生産地：東京）

○ — △ — □
3/14 4/30 6/10

加温：なし
換気：20℃

過湿や高温で徒長するため、やや乾き気味で風通し良く管理をする。肥料を好むが、多すぎると葉が大きくなったり株が暴れたりする。

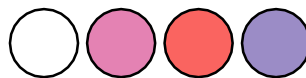
効果的な使用方法と留意点

ほふく性種は花壇の最前面やハンギングでの利用に向く。立性種も主に最前面で利用されるが、栄養系の小輪・多花系の品種は草丈が50cm程度となるため、中段での利用も可能。一方、大輪系品種は乾燥と梅雨時期の降雨に弱く、下葉が枯れ上がり、花つきも悪くなるので注意する。長雨が続くと灰色かび病が発生しやすく、こまめな摘花が必要。

利用場面

草姿	ほふく性～立性
利用法	混植、グラウンドカバー
花径	3～8cm
観賞期草丈	20～40cm
観賞期株張	20～100cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

ペンタス *Pentas* アカネ科



直射日光に強く乾燥にも比較的強い。小さな星型の花が先端でまとまって咲く。花色は白、ピンク、赤、赤紫のみ。F₁種を中心に分枝数が多く揃いが良く、耐暑性に優れる品種が多い。「グラフィティ」シリーズはコンパクトにまとまる。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	中
-----	---

耐乾性	強
-----	---

耐陰性	強
-----	---

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
--------	------

草丈	20～30cm
----	---------

株張	15～25cm
----	---------

栽培事例と栽培上の留意点

「グラフィティ ピンク」（生産地：東京）

○ — △ — □
2/1 3/15 6/27

加温：7℃ 換気：23℃

初期生育は緩慢なため施肥は様子を見ながら行なう。過湿は根腐れの原因となる。極度の乾燥や肥切れで下葉が黄化する。

利用場面

草姿	立性
----	----

利用法	混植
-----	----

花径	1cm（房咲き）
----	----------

観賞期草丈	40～80cm
-------	---------

観賞期株張	30～60cm
-------	---------

開花性	連続
-----	----

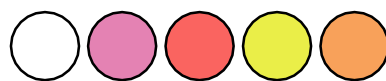
開花期間	6～9月
------	------

効果的な使用方法と留意点

わい性種は花壇前面や寄せ植えでの利用に向く。中高性種は立性で分枝数が多く、伸長しながら連続して開花するためやや広めに植える。乾燥や梅雨時期の降雨にも比較的強いが、過湿で根腐れを起こす。乾燥が続くとハダニが発生するので注意する。花がらは早めに摘み、株が大きくなったら半分程度切り詰めることで、草姿がまとまり長持ちする。

ポーチュラカ

Portulaca スベリヒユ科



乾燥に非常に強く、明るめの花色が多く夏花の定番品目の一つである。通常は午前中にしか咲かないが、最近は「サンちゅらか」シリーズなど午後にかけて長く咲く品種が出されている。寒さには弱く屋外では越冬しない。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	中

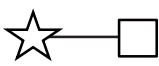
入手規格

ポットサイズ	3～6寸
草丈	10～20cm
株張	10～30cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ラヴァ ローズライラック」
(生産地：東京)

4-5本
直接挿す



4/10 5/15

加温：15℃
換気：20℃

挿し芽で殖やすか、種子をセルに4粒程度播種する。灌水は控えめで肥料は切らさないようにする。適宜摘心を行なう。

利用場面

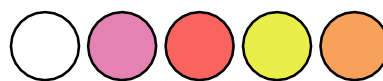
草姿	ほふく性
利用法	混植、グランドカバー
花径	3～5cm
観賞期草丈	20～30cm
観賞期株張	60～80cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

ほふく性でグランドカバー的な利用が多い。鉢の寄せ植え材料として使われることもある。日当たりを好むが、半日陰でも比較的花つきは良い。花は先端部につくため、成長に従い中心部で花が少なくなる。摘心を適宜行くと、株も大きく広がり花が多くつく。病虫害被害が少なく栽培が容易。過湿には弱く、水はけの悪い条件では下葉が落ちる。

マツバボタン

Portulaca スベリヒコ科



通常は午前中に花が萎れるが、夕方までも咲き続ける品種へと改良されている。品種間の開花揃いが良くまとまりやすい。「F₁ハッピートレイル」シリーズのように這う性質を強くした品種も出されている。

生産状況

出荷時期

4 ~ 7月

出荷量： 少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3 ~ 3.5 寸
草丈	15 ~ 25 cm
株張	20 ~ 30 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ソーラーキッズ ライトピンク」
(生産地：東京)

○ — △ — □
3/18 4/16 6/27

加温：なし
換気：20℃

過湿で根腐れを起こすため灌水は控えめにする。生育が早いため早めのスパーシングを心掛ける。草姿が乱れたら適宜摘心する。

利用場面

草姿	ほふく性 ~ 立性
利用法	混植、グラウンドカバー
花径	3 ~ 5 cm
観賞期草丈	30 ~ 50 cm
観賞期株張	40 ~ 60 cm
開花性	連続
開花期間	6 ~ 9月

効果的な使用方法と留意点

ほふく性の性質を有するため、グラウンドカバー的な使用例が多い。鉢の寄せ植え材料として使われることもある。莖の先端に花がつくためこまめに芽を摘むと花数が多くなる。乾燥に強いが、多湿に弱いため、水はけの良いところに植えつける。密植で、長雨が続くと灰色かび病が花に発生するので注意が必要である。

マリーゴールド

Tagetes キク科



主な園芸種として、フレンチ種とアフリカン種がある。前者は株が小さく多花性で、後者は株が大きく大輪の花を咲かせる。市場に多く出回っているのは前者で、最近は黄色、オレンジ以外に赤色が入った品種もある。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性 中

耐乾性 中

耐陰性 中

入手規格

ポットサイズ 3～4寸

草丈 15～25cm

株張 20～30cm

栽培事例と栽培上の留意点

「サファリ イエロー」（生産地：東京）



加温：13℃

換気：20℃

最近はプラグ苗を3～4本植えするのが主流である。早い段階から液肥を施用し茎を太くする。ハダニ、アザミウマに注意する。

利用場面

草姿 立性

利用法 混植

花径 3～6cm

観賞期草丈 20～35cm

観賞期株張 25～40cm

開花性 連続

開花期間 6～9月

効果的な使用方法と留意点

最近は3～4本植えや多粒播きのボリュームのある苗が多く、株間が狭いとすぐに株が混み合う。株が大きくなると、蒸れで下葉が枯れあがったり、土壌病害やハダニが多発するので古い枝を取り除くなどして風通りを良くするよう心掛ける。暑い時期でも比較的活着が良いため、大きくなり株が乱れてきたら新しい株に更新するのも一つの手である。

メカルドニア

Mecardonia オオバコ科



黄色系の「イエロージュエル」、「ゴールドダスト」、淡黄色系の「カスタードクランブル」が販売されている。メカルドニア属には白色花もあるが流通していない。ほふく性で耐病性、耐暑性を有する。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：極少

耐候性

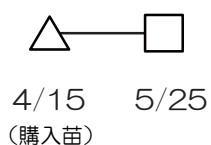
耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5寸
草丈	5cm
株張	10～15cm

栽培事例と栽培上の留意点

「イエロー ジュエル」（生産地：埼玉）



加温：なし
換気：25℃

種子販売はなく、プラグ苗のみの扱い。
排水性重視の水はけの良い用土で育てる。
枝の伸長が早いので適宜摘心が必要。肥料不足で花つきが悪くなるので注意する。

利用場面

草姿	ほふく性
利用法	グラウンドカバー
花径	1～1.5cm
観賞期草丈	10～15cm
観賞期株張	30～50cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

ほふく性で横に成長しながら花をつけるため、グラウンドカバーとして利用する。多湿により蒸れて下葉が枯れあがるため、水はけの良いところに植えつける。多日照を好み、日当たりの悪い場所では極端に花数が少なくなる。一度植えてしまえば花摘み作業など必要としないため管理が容易である。

メランポジウム *Melampodium* キク科



夏の暑さに強く、開花連続性があり、草姿が自然とボール状にまとまる。花色は黄色が基本で、濃淡で品種が異なる。花が小さく葉色が目立つ「パラダイス」という品種もある。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	強
-----	---

耐乾性	中
-----	---

耐陰性	強
-----	---

入手規格

ポットサイズ	3～3.5寸
--------	--------

草丈	20～30cm
----	---------

株張	15～25cm
----	---------

栽培事例と栽培上の留意点

「ジャックポット」（生産地：東京）



加温：17℃

換気：28℃

窒素過多で葉が大きくなるので様子を見ながら液肥を施用する。乾燥させると葉が黄化する。ハダニに注意する。

利用場面

草姿	立性
----	----

利用法	混植
-----	----

花径	1.5～2cm
----	---------

観賞期草丈	30～60cm
-------	---------

観賞期株張	30～50cm
-------	---------

開花性	連続
-----	----

開花期間	6～9月
------	------

効果的な使用方法と留意点

分枝が良く途切れることなく開花するため、コンテナやガーデンの縁取りに向く。草姿がきれいにまとまるため、単独で鉢に植えられることもある。日当たりを好むが、半日陰でも問題はない。極端な乾燥で葉先が枯れることがある。花がらは目立たないので摘む必要はないが、摘んだ方が株は弱らない。肥料切れに注意すれば長期間楽しめる。

ユーフォルビア

Euphorbia トウダイグサ科



観賞する部分は、苞（ほう）と呼ばれる白葉でカスミソウのように先端部に数多くつける。花は目立たない。栄養系「ダイヤモンドフロスト」が有名だが、実生系も最近販売されている。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～3.5寸
草丈	20～30cm
株張	15～25cm

栽培事例と栽培上の留意点

「グラマー」（生産地：東京）



加温：なし
換気：15℃

生育初期は過湿に弱い、生育中期以降は水要求量が多く乾きやすい。大きくなったら1/4～1/3程度切り戻すと良い。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	1.5 cm
観賞期草丈	50～100 cm
観賞期株張	35～60 cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

摘心をしなくても草姿がまとまり、分枝が良いため、他の花との寄せ植え花材として利用されることが多い。単独に鉢植えしても見栄えが良い。極度に乾燥しても、葉を落とし白色部は少なくなるが枯死することはない。過湿なところを嫌う。大株になり乱れたら1/3ほど切り戻すと草姿が回復する。

ランタナ

Lantana クマツツラ科



小さな花が密集して枝の先端にボール状にまとまる。花色が変化するのが特徴で、草丈が高く低木となるもの、コンパクトな草姿を維持するものが一般的である。ほふく性のコバノランタナや葉に斑が入った品種「バリエガータ」もある。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量： 極少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 6 寸
草丈	20 ～ 30 cm
株張	10 ～ 25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「スーパーランタナ レインボーオレンジ」
(生産地：東京)



加温：15℃
換気：25℃

吸肥力が強いいため、緩効性の肥料でじっくり育てる。適宜液肥を施用する。多肥で軟弱徒長し花つきが悪くなるので注意する。

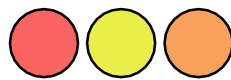
利用場面

草姿	ほふく性 ～ 立性
利用法	単植、混植 グランドカバー
花径	0.8 cm (房咲き)
観賞期草丈	30 ～ 100 cm
観賞期株張	30 ～ 60 cm
開花性	連続
開花期間	6 ～ 9 月

効果的な使用方法と留意点

わい性種は寄せ植えや花壇の前面で利用する。コバノランタナはほふく性があるため、グランドカバーとして利用する。ランタナ・カマラ種は低木で、1mほどの高さとなる。いずれも暑さに強く、日当たりの良い場所を選び、日が当たらないところでは花つきが悪くなる。伸びすぎたら、切り戻すと良い。肥切れで花が少なくなる。

ルドベキア

Rudbeckia キク科

多く栽培されている種類はルドベキア・ヒルタで暑さに強く、強健。わい性種には「トト」系や八重咲種「マヤ」がある。黄色～オレンジ色が主だが、「チェリーブランデー」など赤色系品種もある。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：極少

耐候性

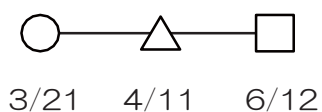
耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～5寸
草丈	20～40cm
株張	20～40cm

栽培事例と栽培上の留意点

「トト ゴールド」（生産地：東京）



加温：なし
換気：17℃

過湿や密植で生育遅延や灰色かび病発生が助長されるため、水管理と早めのスケーシングに気をつける。多肥で軟弱徒長する。

利用場面

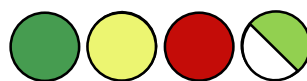
草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	6～10cm
観賞期草丈	40～80cm
観賞期株張	30～50cm
開花性	連続
開花期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

中高性種「プレーリーサン」は強健で分枝が良く花壇後方、わい性種は花壇前面やコンテナでの利用に向く。乾燥には強いが過湿に弱く、水はけの良いところに植える。株の半分程度で摘心すると花を低い位置で咲かせることが可能。オオハンゴンソウ（ルドベキア・ラシニア）は、特定外来生物に指定されているので栽培してはいけない。

アベリア

Abelia スイカカズラ科



小型の半常緑性の低木樹で、広く流通している。葉色のバリエーションが豊富で、緑色を始め、黄色、黄緑色の単色に加え、黄斑の「コンフェッティ」、白斑の「サンライズ」など斑入り品種も多様である。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 中

耐陰性 中

入手規格

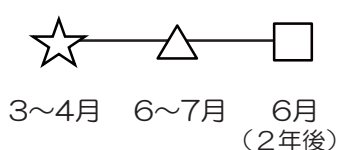
ポットサイズ 3～7寸

草丈 20～25cm

株張 10～40cm

栽培事例と栽培上の留意点

「カレードスコープ」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：10℃

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 25～40cm

観賞期株張 35～50cm

観賞期間 6～9月

生育初期は過湿を嫌うため、水はけの良い土を用いる。また、肥料はやや少なめで管理する。育苗に2年程度要する。

効果的な使用方法と留意点

公共緑化の代表的な低木で、中央分離帯、屋上や花壇の縁取り・小スペースの緑化に向く。芽吹きが良いので、強い刈り込みにも耐える。樹勢が旺盛なものから、伸びにくいものまであり、用途に応じた品種の選択が可能である。特に致命的な被害を及ぼす病害虫もなく、栽培しやすい。日陰条件下では花数が少なくなり、葉色の発色が悪くなるため注意する。

イソレピス *Isolepis* カヤツリグサ科



細くしなやかな茎が半円球状に生い茂るグラス類。風になびく姿は涼しげな雰囲気演出できる。夏場は茎の先端に白い小さな花を着けるため、他のグラス類とは違った印象を受ける。

生産状況

出荷時期

5 ～ 8 月

出荷量： 極少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	弱
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 7 寸
草丈	10 ～ 20 cm
株張	10 ～ 20 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ライブワイヤー」（生産地：千葉）



加温：15℃
換気：22℃

利用場面

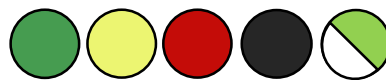
利用法	単植、混植
観賞期草丈	10 ～ 20 cm
観賞期株張	30 ～ 35 cm
観賞期間	6 ～ 9 月

やや少なめの肥料で管理することで締まった株ができる。乾燥を嫌い、栽培中に乾かすと葉の黄化を招くため、水切れにならない様に管理する。

効果的な使用方法と留意点

小型のグラス類で、緑色の糸状の茎が半球状に密生し、先端は垂れ下がる。縦方向にはあまり大きくならないため、花壇の株元を飾ることができる。乾燥に弱い一方で、過湿に強いいため、水辺やウォーターガーデンの植栽にも利用できる。耐陰性もあり、半日陰にも対応する。乾燥すると葉が黄化するため、灌水が定期的に行えない植栽には不向きである。

イポメア *Ipomoea* ヒルガオ科



サツマイモの近縁種で、ほふく茎が長く伸び、広範囲を被覆可能である。壁面上部に植栽すると、下垂し、被覆する。高温乾燥に強く、黄緑色、黒褐色など美しい品種が多い。

生産状況

出荷時期

5 ～ 7月

出荷量： 少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 3.5 寸
草丈	20 ～ 25 cm
株張	30 ～ 40 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ソーラーパワー ブラック」
(生産地：東京)



加温：18℃
換気：22℃

利用場面

利用法	グランドカバー
観賞期草丈	30 ～ 45 cm
観賞期株張	100 ～ 200 cm
観賞期間	7 ～ 9月

分枝数を確保するために鉢上げ後に摘心を行う。施肥量が少ないと分枝や葉色の低下を招くが、多肥だと生育が旺盛になりすぎるため、液肥などで調整する。

効果的な使用方法と留意点

花壇の縁取りやグランドカバー、壁面緑化に向く。地中にイモを作るので乾燥に強く、粗放管理が可能である。黄緑品種は強光下で栽培すると、葉焼けを起こしやすい。黒色品種は日陰条件で退色しやすい。ヨトウムシ類の被害を受けやすいので、害虫防除に努める。

エラグロスティス *Eragrostis* イネ科



細長く柔らかい葉と穂に特徴がある大型のグラスで、風にそよぐ姿は風情がある。葉がやや大きめのエリオッティ種「ウィンドダンサー」や細葉のクルブラ種「トトネスバーガンディー」などがある。

生産状況

出荷時期

4～5月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5 寸
草丈	20～35 cm
株張	25～35 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ウィンドダンサー」（生産地：千葉）



加温：15℃
換気：22℃

利用場面

利用法	単植、混植
観賞期草丈	70～110 cm
観賞期株張	110～170 cm
観賞期間	6～9月

過湿に弱いため、水はけの良い土で管理する。生育が旺盛で温度が高いほど生育は早くなる。コンパクトな草姿に仕上げたい場合は夜温を低く管理する。

効果的な使用方法と留意点

グラスガーデンの定番な植物で、ナチュラル感の演出に効果的である。高温乾燥条件下でも旺盛に生育し、存在感がある。茎葉が枯れ冬枯れした様相も風情がある。地植えした株はボリュームも豊かで見ごたえがあるが、日陰条件下では軟弱徒長しやすい。草丈が1mを超すので、背の高い植物との組み合わせが好ましい。

エリゲロン *Erigeron* キク科



初夏から初秋にわたり連続して開花する。強健で、刈り込みにも耐えることから、維持管理も容易である。日当たり良好な場所では長期間にわたって開花するが日陰条件下では開花しにくい。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～3.5 寸 25 cm マット
草丈	10～13 cm
株張	15～30 cm
花径	1～2 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「プロフュージョン」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：10℃

多湿管理や高温期の多肥管理は根腐れや蒸れの原因となるため、水はけの良い土を用い、夏季の施肥は控える。

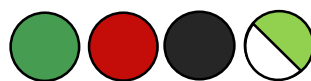
利用場面

利用法	グラウンドカバー
観賞期草丈	15～25 cm
観賞期株張	30～60 cm
観賞開花性	連続
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

石垣のクラックから芽を出し旺盛に生育する。根が地中深くまで入るため、乾燥にも強い。植付作業が容易で短期間に被覆可能である。直射日光を好み、日陰条件下では花数が少なく株のボリュームがでない。ポット苗以外に、薄層基盤のマット植物でも流通する。

オレガノ *Origanum* シソ科



観賞用のオレガノ。黄緑～紫と様々な葉色があり、他の植物と混植することで植栽にアクセントをつけられる。小さく可憐な花をつける種もあり、カラーリーフ以外の用途にも利用できる。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	弱
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	10～20cm
株張	10～20cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ノートンゴールド」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：10℃

過湿に弱いため水はけの良い土を用い、やや乾かし気味に管理する。株が蒸れやすいため、肥料は控えめにする。

利用場面

利用法	混植、グランドカバー
観賞期草丈	10～60cm
観賞期株張	30～50cm
開花性	連続
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

非常に多くの種類があり、耐暑性の差が大きいため、適切な品種選定が必要である。全般的に過湿に弱いものが多いため、水はけと風通しの良い場所での植栽に適する。草姿も種類によって様々で、高性のものは株が広がりにくく、混植に向く。ほふく性のものは横方向への株張りが旺盛で、株元を飾るだけでなく、グランドカバーとしても利用できる。

カレックス

Carex カヤツリグサ科



細葉でしなやかなラインが美しい。葉色は緑色をはじめ銅葉や黄緑色、斑入りなど、多種多様であり、葉色以外にも光沢のあるものや先端がカールするものなどバリエーションに富む。

生産状況

出荷時期

3～6月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 強

耐陰性 強

入手規格

ポットサイズ 2.5～5 寸

草丈 10～20 cm

株張 10～20 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「アウバウム」（生産地：千葉）



加温：15℃

換気：22℃

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 30～50 cm

観賞期株張 30～70 cm

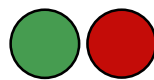
観賞期間 7～9月

育苗期間が長いため、早春までは加温し生育を促す。多肥管理は生育遅延を招くため、施肥量をやや少なめとする。過湿にならない様に管理する。

効果的な使用方法と留意点

葉は様々な色や形状があり、草丈も小型から大型までバリエーションに富む。不良環境にも強いため様々な植栽のテーマに対応できる。根の生育が旺盛な品種が多く、花壇や庭先に植え付けた場合は活着後の灌水をほぼ必要としない。一方で、根の生育が旺盛な品種を鉢などの隔離された場所に植えると水不足を招き、葉の先端などが枯れこむ原因となる。

ケイトウ（晩生種） *Celosia* ヒユ科



晩夏から初秋に開花し始め、代表的な秋を告げる草花である。花も葉も観賞でき、特に晩生種は葉色の変化が長く楽しめる。晩生種は赤系が多く、刻々とグラデーションが変化する。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性	強
-----	---

耐乾性	強
-----	---

耐陰性	弱
-----	---

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
--------	------

草丈	10～15cm
----	---------

株張	15～20cm
----	---------

栽培事例と栽培上の留意点

「レッドクリフ」（生産地：千葉）



加温：なし

換気：22℃

昼夜温差が大きいと徒長を招くため、夜温はやや高めに管理する。カラーリーフとして供給する場合は短日処理は必要ない。

利用場面

利用法	単植
-----	----

観賞期草丈	70～90cm
-------	---------

観賞期株張	70～90cm
-------	---------

観賞期間	7～9月
------	------

効果的な使用方法と留意点

夏から秋の定番草花で、大量に流通する。品種数が多く、色彩の幅も広い。葉も美しいものが多く、アクセントになる。高温乾燥に強く、様々な環境で栽培が可能である。肥培管理で生育が変化する。特に窒素が多いと倒伏しやすく、赤系の品種は緑色を帯びやすい。

コキア

Bassia ヒユ科

ホウキグサとも呼ばれる。小さな茎葉が密集した丸みのある草姿が特徴的。樹木のような外観であるが、一年草で冬には枯れてしまう。紅葉すると鮮やかな赤色を呈し、秋の植栽にも利用できる。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 中

耐陰性 強

入手規格

ポットサイズ 3～6寸

草丈 15～50cm

株張 15～40cm

栽培事例と栽培上の留意点

「グリーン」（生産地：千葉）



加温：15℃

換気：22℃

利用場面

利用法 単植

観賞期草丈 40～50cm

観賞期株張 30～40cm

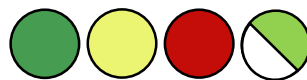
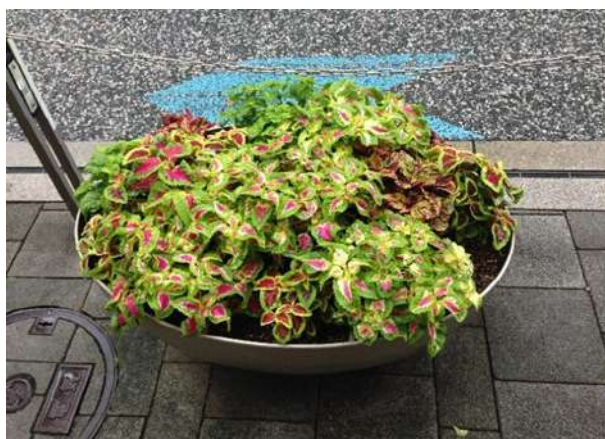
観賞期間 6～9月

多肥管理は草姿の乱れにつながるため、控えめにする。根が傷むと枯れやすいため、移植は早めに行う。

効果的な使用方法と留意点

一年草であるが形状は樹木に近く、コニファーのような使い方もできる。丸みのある草姿が自然とできるため刈り込みなどの作業が必要なく、ローメンテナンスである。品種によっては地上部の生育に比べ地下部の発達が弱いため、風が強い場所に植える際は深植えなどの対策が必要である。

コリウス

Solenostemon シソ科

分枝が旺盛で高温に強く直射日光下でも観賞性が落ちない。葉が小さいものは耐風性、耐雨性が強く、葉が大きいものは耐陰性に富む。赤、緑、黄緑、黄色と品種が多い。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性	中 (一部強)
-----	------------

耐乾性	強
-----	---

耐陰性	中 (一部強)
-----	------------

入手規格

ポットサイズ	3～5寸
--------	------

草丈	10～30cm
----	---------

株張	10～20cm
----	---------

栽培事例と栽培上の留意点

「ゴリラ ローズ」(生産地：千葉)



加温：なし
換気：22℃

利用場面

利用法	単植、混植
-----	-------

観賞期草丈	70～80cm
-------	---------

観賞期株張	50～90cm
-------	---------

観賞期間	7～9月
------	------

光発芽種子であるが、乾燥すると発芽率が低下するため、播種時は薄く覆土する。肥料切れは葉色の低下を招くため、液肥などで適度に追肥する。

効果的な使用方法と留意点

華やかな夏花壇の演出に欠かせない。寄せ植えのアクセントや小型の鉢物としても使える。シソに似た穂状の花が伸びだすと、葉の観賞性は低下する。葉色の発現には、十分な光が必要で、日陰条件下では赤系の品種は退色が著しい。そのため、日陰の植栽には緑色・白色が主体の品種が向く。乾燥条件ではしおれやすいものの、灌水するとすぐに回復する。

コリネフォラス

Corynephorus イネ科



グラス類の中では小型の草姿で、葉は立った針状、葉色は青みがかった緑色である。乾燥に強いが、日陰や灌水量が多いと株のボリュームに欠け、徒長した細葉となる。

生産状況

出荷時期

5～6月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	2.5 ～ 3 寸
草丈	10 ～ 15 cm
株張	15 ～ 25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「スパイキーブルー」（生産地：千葉）



加温：15℃
換気：22℃

利用場面

利用法	混植
観賞期草丈	15 ～ 30 cm
観賞期株張	25 ～ 40 cm
観賞期間	6 ～ 8 月

生育が早く、短期間での育苗が可能。水はけの良い土を用い、過湿を避ける。多肥管理はボリューム低下を招くため、施肥量は少なめに管理する。

効果的な使用方法と留意点

小型のグラス類で、花壇だけでなく寄せ植えにもアクセントとして利用できる。植付から1～2か月程度で観賞適期となる。高温乾燥に強いが日陰での管理や過湿により徒長、葉色の退色、葉の褐変・老化が生じる。他のグラス類に比べ観賞期間は短め。花壇で利用する際はコガネムシ類幼虫による地際の食害に注意する。

コロカシア

Colocasia サトイモ科



観賞用のサトイモ。「コナコーヒー」は黒褐色の葉色が特徴的で、ガーデンのアクセントになる。乾燥や極端な高温には弱いので、西日がさえぎられる場所に植栽し、水切れに注意する。

生産状況

出荷時期

5 ～ 6月

出荷量： 極少

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 弱

耐陰性 強

入手規格

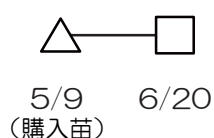
ポットサイズ 3 ～ 4寸

草丈 15 ～ 25 cm

株張 15 ～ 25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「コナコーヒー」（生産地：東京）



加温：15℃

換気：22℃

乾燥に弱いため、やや過湿気味に管理する。弱光下で管理を行うと、葉が黒色から緑色に変化しやすいため、遮光は控えめにする。

効果的な使用方法と留意点

サトイモのような大きな葉は、トロピカルな演出に最適である。日陰条件では本来の葉色が発現しにくく、緑色を帯びる。乾燥が続くと葉が小型化するので水切れに注意する。鉢植えの状態で管理する場合は、観賞期間中も成長をつづけるため、大きめのポットが好ましい。

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 70 ～ 100 cm

観賞期株張 60 ～ 100 cm

観賞期間 7 ～ 9月

ジャノヒゲ

Ophiopogon キジカクシ科

耐陰性が極めて強く、低照度条件下の緑化に向く。高温乾燥、寒さに強いいため、北海道東部以外はほぼ全国的に栽培可能である。維持管理が容易で、病害虫にも強い。わい性品種や斑入り品種もある。

生産状況

出荷時期

通年

出荷量：極少

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 強

耐陰性 強

入手規格

ポットサイズ 2.5 ～ 3.5 寸
25 cm マット

草丈 7 ～ 10 cm

株張 10 ～ 20 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「タマリユウ」（生産地：千葉）



2～3月

6月

加温：なし

換気：10℃

利用場面

利用法 グランドカバー

観賞期草丈 7 ～ 10 cm

観賞期株張 10 ～ 25 cm

観賞期間 6 ～ 9月

乾燥にも耐えられるが、やや湿った管理を好む。肥料による根焼けを起こすことがあるため、速効性肥料は避け、緩効性肥料を用いて管理する。

効果的な使用方法と留意点

グランドカバーとして利用され、全国的に流通している。ほふく茎が伸びて広がるタイプと、分けつして除々に広がるタイプの2系統に大別される。前者はほふくスピードが早く、後者は草姿が崩れにくい。強健で乾燥に強く、維持管理は容易である。踏圧には弱いため、人に踏まれる様な場所の植栽には適さない。

スティパ *Stipa* イネ科



細く柔らかで馬の尻尾のような形状のグラス類。風にそよぐ姿は風情がある。高温乾燥に強く、管理が容易であるが、こぼれ種が容易に発芽し、周囲に広がる。

生産状況

出荷時期

5～6月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	2.5 ～ 3 寸
草丈	15 ～ 20 cm
株張	20 ～ 25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ポニーテール」（生産地：千葉）



加温：15℃

換気：22℃

利用場面

利用法	混植
観賞期草丈	30 ～ 40 cm
観賞期株張	55 ～ 70 cm
観賞期間	6 ～ 9 月

過湿に弱いため、水はけの良い土を用い、灌水量も控える。肥料が多いと草姿が乱れるため、施肥量は少なめに管理する。

効果的な使用方法と留意点

風にたなびく草原の風景の演出に欠くことができない存在である。高温乾燥に強く、強健であるが、過湿条件を嫌う。日当たりが良い場所を好み、日陰条件下では軟弱徒長し、ボリューム感に欠ける。こぼれ種で増えるので、適宜抜き取る。

タイム *Thymus* シソ科



ハーブとしてもよく知られる常緑の低木樹。様々な形態の品種があり、ほふく性の品種は香りのあるグランドカバーとして使える。春～初夏にかけて可憐な花をつけ、花としての観賞性も有する。

生産状況

出荷時期

5～6月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～3.5寸 25cm マット
草丈	5～10 cm
株張	20～30 cm
花径	0.8～1.5 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ロンギカリウス」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：10℃

過湿による蒸れに弱いため、水はけの良い土を用い、過灌水は控える。肥料が多いと繁茂し草姿が乱れるため、施肥量は少なめに管理する。

利用場面

利用法	混植、グランドカバー
観賞期草丈	5～10 cm
観賞期株張	30～40 cm
開花性	連続
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

常緑または半落葉性の低木で、グランドカバーとして使える。葉色は黄緑～緑色の単色で斑入りの品種もある。ロンギカリウスなど花つきの良い品種は初夏の演出に効果的である。乾燥に強いが過湿に弱いため、水はけが良く風通しが良い場所に植え付ける必要がある。開花終了後に刈り込みを行うことで蒸れを軽減できる。

ツルマサキ

Euonymus ニシキギ科



常緑のつる性木本植物で、気根を出し他の植物などに吸着し、登はんする。黄色、白の斑入りや寒さで赤紫色に変色する品種がある。グランドカバーや壁面緑化、寄せ植えなどに利用できる。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中

耐候性

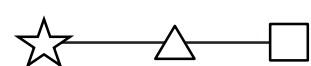
耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	15～25 cm
株張	25～35 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「エメラルドガイティ」（生産地：千葉）

3～4月 6～7月 6月
(2年後)加温：なし
換気：10℃

非常に堅強で管理しやすく、培養土は特に選ばない。水切れ、肥料切れで落葉することがあるため、適時灌水、追肥を行う。育成に2年程度要する。

利用場面

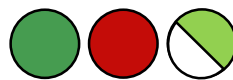
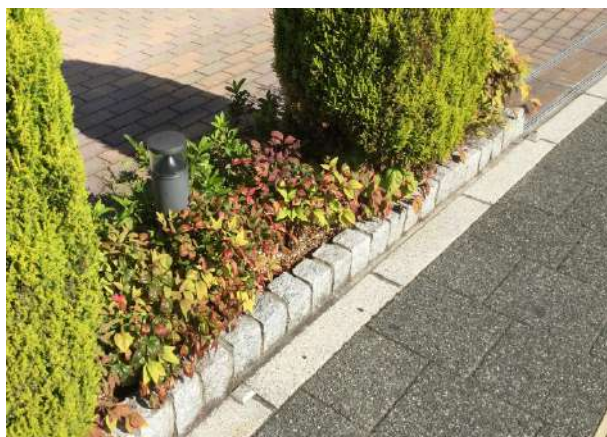
利用法	混植、グランドカバー
観賞期草丈	30～40 cm
観賞期株張	30～50 cm
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

高温乾燥に耐え、日陰に強いため、様々な環境下で栽培が可能である。さらに潮風にも強いいため、臨海部の緑化に向く。ミノウスバの幼虫が寄生すると、数日のうちに丸坊主になるので、注意が必要である。

ナンテン（わい性種）

Nandina メギ科



代表的な亜灌木で、「難を転じる」と言われることから珍重されている。秋には葉が赤く色づき、紅葉も楽しめる。古くからある「オタフクナンテン」の他、「オブセス」など新しい品種もある。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 中

耐陰性 強

入手規格

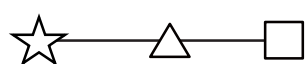
ポットサイズ 3～6寸

草丈 20～25cm

株張 10～35cm

栽培事例と栽培上の留意点

「オブセス」（生産地：千葉）

3～4月 6～7月 6月
(2年後)加温：なし
換気：10℃

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 25～40cm

観賞期株張 30～45cm

観賞期間 6～9月

乾燥・過湿に若干弱いため、水はけの良い土を用い、適度に灌水を行う。施肥は緩効性肥料を用い、施肥量は控え気味に管理する。育苗に2年程度要する。

効果的な使用方法と留意点

非常に堅強で、北海道を除き、ほぼ全国的に栽培が可能である。耐陰性が強く日陰の植栽にも利用できる。ただし、葉の発色には光が必要であり、日当たりの悪いところでは紅葉時の発色が劣る。低木でゆっくりと生育するため、グランドカバーの他、植物の間の空いたスペースを埋める品目としても利用できる。

ニューサイラン

Phormium リュウゼツラン科



幅広線形の葉が特徴的で、花壇の中で存在感を発揮する。3mに達する大型のものから数10cm程度の小型種もある。さらに、赤、緑、黄色など様々な葉色も楽しめる。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：極少

耐候性

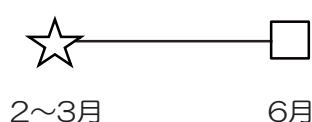
耐雨性	中
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～6寸
草丈	40～50 cm
株張	15～55 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ブラックレイジ」（生産地：千葉）



加温：15℃
換気：22℃

利用場面

利用法	単植、混植
観賞期草丈	※ 30～50 cm
観賞期株張	※ 30～80 cm
観賞期間	6～9月

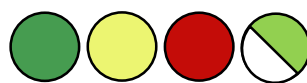
※ 小型種の数値

過湿に弱いため水はけの良い土を用いる。肥料切れは生育遅延を招くため、適宜追肥する。蒸れに弱い品種が多いため、栽培施設の換気に努める。

効果的な使用方法と留意点

大型種は株周りを十分確保できる場所に植え付ける。小型種は寄せ植えのメインや花壇のアクセントに向くが一部は草勢が弱いものがある。直射光下から半日陰下まで栽培可能である。

ハゲイトウ（アマランサス） *Amaranthus* ヒユ科



ケイトウの名がついているが、*Celosia*属とは属が異なる。赤、黄、黄緑色などの鮮やかな葉色が特徴的。草姿が大きくなりやすく、葉色の鮮やかさと合わせてダイナミックな植栽を演出できる。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	弱
耐乾性	中
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～4寸
草丈	10～15 cm
株張	20～25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「イルミネーション」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：22℃

根を痛めると生育が著しく停滞するため、根が回る前に鉢上げするか、直播する。施肥量が少ないと株が大きくなる前に葉が色づくため、肥料切れに注意する。

利用場面

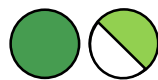
利用法	単植
観賞期草丈	※ 50～80 cm
観賞期株張	※ 30～50 cm
観賞期間	6～8月

※ 8月時点の数値

効果的な使用方法と留意点

地植えにすると大株になり、本来の特性が現れやすい。葉色を十分に発現させるには、十分な光量が必要で、低照度下では色が薄く軟弱徒長しやすい。生育が早く、短期間に植栽を完成させる場合などの利用に向く。強風による茎折れや過湿による地際部の腐りの他、8月中旬以降は急激に草勢が悪くなるため、植付け場所、利用時期に注意する。

ハツユキソウ

Euphorbia トウダイグサ科

夏から秋にかけて白斑の涼しげな葉を展開する。暑さに強く、半日陰条件の花壇と相性が良い。成熟した株は黄緑色の小さな花を多くつけ、こぼれ種が翌年発芽する。

生産状況

出荷時期

5 ~ 7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 強

耐陰性 中

入手規格

ポットサイズ 3 ~ 4 寸

草丈 15 ~ 30 cm

株張 15 ~ 25 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「氷河」（生産地：東京）

4/10
(直播)

6/27

加温：14℃

換気：26℃

利用場面

利用法 混植

観賞期草丈 70 ~ 100 cm

観賞期株張 70 ~ 80 cm

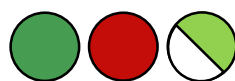
観賞期間 6 ~ 9月

灌水・施肥量が多いと草姿が乱れるため、やや控えめで管理する。ただし、極端な乾燥に遭遇させると生育が著しく遅延するため適期の灌水に努める。

効果的な使用方法と留意点

ポット全体に根が回っている場合は根をほぐして植え付ける。肥料と水が多いと徒長を招くので控える。風雨や先端部の重みで倒伏しやすいため、早めに支柱を立て結引するか、小株のうちに摘心し、草丈を低く抑える。株が横に張るので株間は広くとる。こぼれ種が雑草化しやすいことと、切り口からの乳液に触れるとかぶれることがあるので注意する。

ヒポエステス

Hypoestes キツネノマゴ科

葉は卵型をしており、やや深い緑色をベースに、そばかす状の斑が入ることから「ソバカスソウ」とも呼ばれる。斑の色は白や赤などレパートリーに富む。直遮光に弱く日陰の植栽に向く。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 弱

耐陰性 強

入手規格

ポットサイズ 2.5～3.5 寸

草丈 15～20 cm

株張 15～20 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「コンフェッティホワイト」
(生産地：千葉)



4/27 5/17 6/22

加温：15℃

換気：22℃

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 30～40 cm

観賞期株張 30～50 cm

観賞期間 5～9月

鉢上げ後に摘心することで分枝を増やし、株のボリュームを出すことができる。初夏出荷の作型では灌水・施肥不足になりやすいため、適宜灌水と共に追肥する。

効果的な使用方法と留意点

耐陰性が強く、日陰の植栽以外に室内でも利用できる。一方、強い光に当たると葉が萎縮してしまうため、直射光が当たる様な場所での植栽には不向きである。夏場は特に生育が旺盛なため、繁茂し過ぎる場合は刈り込みが必要である。また、水切れに弱く、雨が少ないとハダニが付着することもあるため、定期的な灌水が必要である。

ヒメイワダレソウ

Phyla クマツヅラ科



非常に強健で踏みつけに耐えるが、生育が旺盛で他の植物を被覆し駆逐することがある。花は初夏から初秋に開花し、小さな花が集合した状態を觀賞する。冬は地上部が枯れるが株元の芽が越冬し、翌春に再び生育する。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5 寸 25 cm マット
草丈	2～5 cm
株張	10～15 cm
花径	0.8～1.5 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「リッピア」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：10℃

多肥だと過繁茂し、株が立ち上がるためカバープランツとしての草姿には適さなくなる。マット植物として生産する場合は定期的に刈り込む必要がある。

利用場面

利用法	グランドカバー
觀賞期草丈	5～7 cm
觀賞期株張	50～60 cm
開花性	連続
觀賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

高温乾燥に強く生育が旺盛のため、屋上・壁面緑化、公園や庭のグランドカバーとして最適である。花が開花する春から夏にかけてが觀賞時期。日当たりを好むため日陰条件を避けること、繁茂するため他の植物を駆逐しやすいことに注意する。ポット苗以外にマット植物としても流通しており、入手が容易である。

ヒメマサキ

Euonymus ニシキギ科

常緑の中低木で、高温条件下でも良く育つ。耐陰性が強く、低照度条件下でも栽培可能である。近縁種に、より大型のマサキがあり、寄せ植えなどに使える。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：中

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～5寸
草丈	15～20cm
株張	15～20cm

栽培事例と栽培上の留意点

「オウゴンヒメマサキ」（生産地：千葉）



3～4月 6～7月 6月
(2年後)

加温：なし
換気：10℃

堅強で管理しやすく、土の種類は選ばない。斑入り種や黄金種は光が不足すると葉が緑色になりやすいため、遮光は適宜調整する。育苗に2年程度要する。

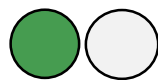
利用場面

利用法	単植、混植
観賞期草丈	20～30cm
観賞期株張	10～30cm
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

通年で観賞でき、特に春～夏は葉色が鮮やかになる。洋風の生垣や縁取りなどに利用できる。樹高・株張が小さいため個性を主張せず、花壇植栽では他の草木のアクセントとしても利用できる。高温乾燥に強く、生育は旺盛であるが、斑入り種や黄金種は日当たりが良いと葉焼けを起こしやすいので注意する。

ヘリクリサム

Helichrysum キク科

ヘリクリサム属のうち、カラーリーフとして葉を観賞するタイプのものが該当する。多くの品種が存在するが、葉色が白～銀色のものが人気がある。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性 弱

耐乾性 強

耐陰性 中

入手規格

ポットサイズ 2.5～4 寸

草丈 20～40 cm

株張 15～30 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ティアンスカニクム」（生産地：千葉）



3月上 4月上 7月上

加温：なし

換気：10℃

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 20～60 cm

観賞期株張 20～70 cm

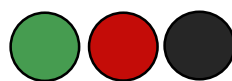
観賞期間 6～9月

挿し木で繁殖する。発根以降は過湿に注意し、乾かし気味に管理する。光が不足すると葉が緑色になることがあるため、挿し木時以外は遮光は極力控える。

効果的な使用方法と留意点

日当たりの良い場所を好む。乾燥に強い一方で過湿に弱いものが多いため、過湿を避け、土壌の水はけと風通しが良い場所での植栽に向く。生育速度は千差万別で、非常に旺盛なものから、植え付け後も殆ど草姿が変化しないものがある。

ミレット

Pennisetum イネ科

観賞用に品種改良されたアワ・ヒエの一種。「パープルマジスティ」などは草丈が高く、茎葉が黒褐色なため花壇の中でひと際目を引く。高温乾燥に強い。日陰条件下では発色が劣る。

生産状況

出荷時期

5～6月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 強

耐陰性 弱

入手規格

ポットサイズ 3～4寸

草丈 45～55cm

株張 15～30cm

栽培事例と栽培上の留意点

「パープルマジスティ」
(生産地：千葉)



加温：15℃

換気：22℃

利用場面

利用法 単植、混植

観賞期草丈 60～110cm

観賞期株張 20～70cm

観賞期間 6～8月

強光を好むため遮光は極力避ける。灌水、施肥不足、根詰まりで生育が阻害されるため、大きめのセルトレイやポットで管理する。

効果的な使用方法と留意点

草丈が1m以上になり、花壇の背部やワンポイントとして使われる。花壇以外に地上部を乾燥したものは、アレンジメントの花材として使える。高温乾燥に強いが、過湿は嫌う。草丈が高いため、風が強い場所では茎折れしやすい。日陰条件下では発色が劣る。7～8月に伸びだす穂は傷みやすいので、傷み始めたら早めに切除する。

ヤブラン *Liriope* キジカクシ科



細長く緑～斑入りの葉が特徴的。8～10月に紫色で穂状の花を咲かせる。耐雨性・耐陰性が強い。直射日光下では葉焼けしやすい。近縁種のヒメヤブランは小型でポット栽培向き。

生産状況

出荷時期

3～7月

出荷量：多

耐候性

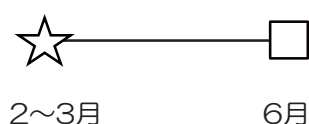
耐雨性	強
耐乾性	中
耐陰性	強

入手規格

ポットサイズ	3～5寸
草丈	10～20cm
株張	15～25cm
穂径	1～1.5cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ロイヤルパープル」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：10℃

乾燥にも耐えるが、やや湿った管理を好む。光が弱い方が葉色は鮮やかになるため、遮光はやや強めにする。

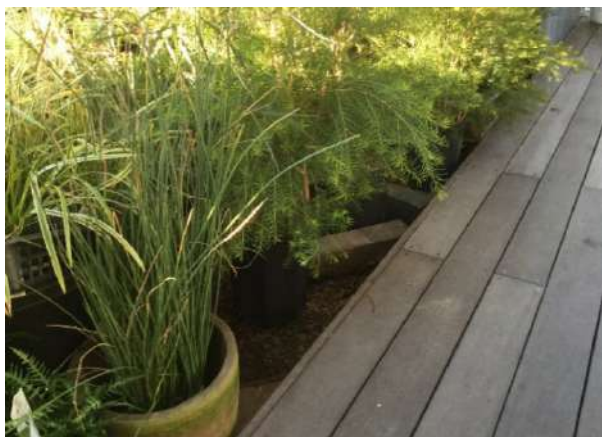
利用場面

利用法	単植、混植
観賞期草丈	20～50cm
観賞期株張	30～70cm
観賞開花性	一季性
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

耐陰性が強く、木陰や屋根の下などの空間をかざる際の定番植物である。また、夏～秋にかけて咲く花は涼しげな雰囲気演出できる。降雨のみでも生育し高温乾燥にも耐える。ただし、乾燥が続く時期に植え付ける場合は活着するまで灌水が必要である。斑入り品種は直射日光によって特に葉焼けしやすいので注意する。

ユンカス *Juncus* イグサ科



ジュンカスの名で流通する場合もある。細身の茎を觀賞するグラス類で、水を好むことから水辺などの植栽に向く。品種によって大きさも形状も様々で、茎の形状も直線的なものや螺旋状なものがある。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：極少

耐候性

耐雨性	強
-----	---

耐乾性	強
-----	---

耐陰性	強
-----	---

入手規格

ポットサイズ	3～6寸
--------	------

草丈	※ 15～20 cm
----	------------

株張	※ 10～15 cm
----	------------

※ 小型種の数値

栽培事例と栽培上の留意点

「ブルーダート」（生産地：千葉）



3月下 6月上 7月上

加温：15℃

換気：22℃

幼苗期は乾燥に弱いため播種から出荷まで水を切らさない様に管理する。発芽までに時間のかかる種類が多いため、播種後の水管理に注意を払う。

利用場面

利用法	単植、混植
-----	-------

觀賞期草丈	※ 30～40 cm
-------	------------

觀賞期株張	※ 20～30 cm
-------	------------

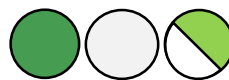
觀賞期間	6～9月
------	------

※ 小型種の数値

効果的な使用方法と留意点

不良環境に強く、日陰や過湿気味の場所に植え付けても觀賞性が保たれる。品種によって草丈に大きな差があり、30cm程度に留まるものから1m以上になるものもあるため、混植の際は品種の選択に注意する。極端な乾燥に合うと根痛みによって枯れることがあるため、植え付け直後はやや過湿気味な管理とする。十分に根が張れば乾燥には強い。

ローズマリー

Rosmarinus シソ科

ハーブとしてもよく知られる常緑の低木樹。独特の香りがあり、強健であるため道路際などの植栽にも利用できる。樹形は立性、半立性、ほふく性に大別され、利用場所に応じた選択が可能である。

生産状況

出荷時期

通 年

出荷量： 中

耐候性

耐雨性 中

耐乾性 強

耐陰性 中

入手規格

ポットサイズ 3 ～ 10 寸
25 cm マット

草丈 10 ～ 15 cm

株張 20 ～ 30 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ローズマリー spp.」（生産地：千葉）



6～7月 8～9月 6月

加温：なし
換気：10℃

酸性土壌を嫌うため、育苗土は中～ややアルカリ性のものを用いる。過湿に弱いので水はけの良い土を用い、やや乾かし気味に管理する。肥料は少なめとする。

利用場面

利用法 単植、混植
グランドカバー

観賞期草丈 15 ～ 20 cm

観賞期株張 25 ～ 40 cm

観賞期間 6 ～ 9月

効果的な使用方法と留意点

ほふく性のものはグランドカバーとして、立性や半立性のものは混植したり鉢植えなどに利用できる。春先から初夏にかけては白～紫色の花をつけ、花の観賞性も高い。乾燥に強い一方で過湿に弱く、水はけや風通しの良い場所を選んで植栽する。特に梅雨時期の植え付けは注意が必要である。

ロニセウ

Lonicera スイカズラ科

常緑の低木で葉が細かく密生し、黄色～緑色のカラーリーフとして人気がある。カーペット状になるため、グランドカバーや花壇の縁取りなどに利用できる。

生産状況

出荷時期

通 年

出荷量： 中

耐候性

耐雨性 強

耐乾性 強

耐陰性 中

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 5 寸 25 cm マット
草丈	15 ～ 30 cm
株張	25 ～ 35 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ニティダ」（生産地：千葉）



6～7月 8～9月 6月

加温：なし

換気：10℃

強健で病害虫も付きにくい。浅根性のため、肥料による根焼けを起こすことがあり、速効性肥料は避け、緩効性肥料を用いて管理する。

利用場面

利用法

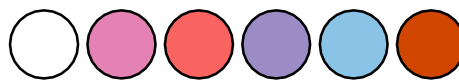
単植、混植
グランドカバー

観賞期草丈	25 ～ 35 cm
観賞期株張	30 ～ 40 cm
観賞期間	6 ～ 9月

効果的な使用方法と留意点

ロニセウの名で流通するものは常緑低木の本種とつる性で半落葉のものに大別される。小さな葉のついた枝が密集して絡み合い、カーペット状の樹形を形成する。葉色は黄～緑に加え斑入りのものもある。生育がやや緩慢なため植え付け時の状態を維持しやすい。刈り込みにも耐え非常に強健である。ローメンテナンスなグランドカバーとして利用できる。

アサガオ（つる性）

Ipomoea indica 他 ヒルガオ科

すくすく伸びるつるに毎朝新しい花が咲く姿は、古くから親しまれてきた。教材に使われるなど、最も身近な花の一つ。様々な花色が楽しめる。

生産状況

出荷時期

4～7月

出荷量：多

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3～6寸
草丈	5～40cm
株張	10～20cm

栽培事例と栽培上の留意点

西洋アサガオ「ヴェニスブルー」
（生産地：千葉）



加温：なし
換気：25℃

側枝を伸ばすため、2回摘心する。早播きすると株ができる前に開花し、早期に枯れあがる。ハダニが発生しやすい。

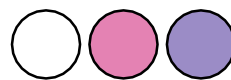
利用場面

草姿	つる性
利用法	グリーンカーテン
花径	5～20cm
観賞期草丈	120～250cm
観賞期株張	50～100cm
開花性	連続
観賞期間	7～9月

効果的な使用方法と留意点

宿根性の琉球アサガオ（*I. indica*）は枯れ上がりがなく、非結実性のため、メンテナンスが楽。地植えであれば4mに達する。西洋アサガオ（*I. tricolor*）は生育が旺盛であるものの、枯れ上がりが早い。桔梗咲き品種（*I. nil*）は、花卉の凋れが少なく花持ちが良い。短日開花性が強いため、街灯の近くでは開花が遅れる可能性がある。

アサリナ

Maurandya オオバコ科

細いつるが旺盛に伸び、キンギョソウのようなベル形の花が咲く。白、ピンク、赤紫、青紫など、花色のバリエーションを楽しめる。

生産状況

出荷時期

4～6月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5 寸
草丈	20 cm～
株張	15 cm～

栽培事例と栽培上の留意点

「ミスティック」（生産地：千葉）



加温：15℃
換気：25℃

発芽適温が20～25℃と高いため、播種後は温床やトンネル被覆により十分に加温する。

利用場面

草姿	つる性
利用法	グリーンカーテン
花径	4 cm
観賞期草丈	200 cm～
観賞期株張	～100 cm
開花性	連続
観賞期間	7～11月

効果的な使用方法と留意点

高温を好み、つるの伸び始めは遅いが、長尺化すれば（別頁補足資料5を参照）6月中下旬頃からグリーンカーテンを楽しめる。ネットに這わせる場合には、最初だけつるをきれいに分散させるように誘引する。旧学名 *Asarina scandens*。

スネールフラワー

Vigna マメ科



カタツムリのような形の花が咲くことから、スネール（Snail）の名がついた。花は小さめだが、生育は非常に旺盛で、高いカーテンが必要な場合に最適。

生産状況

出荷時期

4～6月

出荷量：少

耐候性

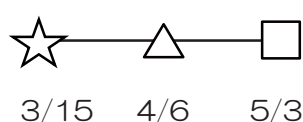
耐雨性	強
耐乾性	強
耐陰性	中

入手規格

ポットサイズ	3.5 寸
草丈	20 cm ～
株張	15 cm ～

栽培事例と栽培上の留意点

「スネールフラワー」（生産地：千葉）



加温：15℃
換気：25℃

挿し木で増殖する。熱帯性の植物だが、平均気温20℃程度であれば、定植後30～40日でカーテンが完成する。

利用場面

草姿	つる性
利用法	グリーンカーテン
花径	4～5 cm
観賞期草丈	200 cm ～
観賞期株張	100 cm ～
開花性	連続
観賞期間	6～10月

効果的な使用方法と留意点

4～5cmの花が2、3個かたまって咲く。暑さが厳しい時期には花つきが悪くなるが、定植直後から花が楽しめる。生育が旺盛であるため、栽植密度は1m幅のネットに1～2株程度とし、立ち上がり時につるをネットに分散させるとよい。

ツンベルギア アラタ

Thunbergia alata キツネノマゴ科

青～紫の花が咲くグランディフロラ種と比較して小葉で、多花性。白、黄、橙色の花弁と中心部の黒紫色のコントラストがかわいらしい。

生産状況

出荷時期

4～6月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5 寸
草丈	20cm～
株張	15cm～

栽培事例と栽培上の留意点

「アフリカンサンセット」
(生産地：千葉)



加温：15℃
換気：25℃

発芽適温が25℃と高いため、播種後は、温床やトンネル被覆により十分に加温する。つるの伸長が遅いため、摘心は1回にする。ハダニが発生しやすい。

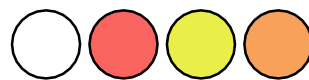
利用場面

草姿	つる性
利用法	グリーンカーテン
花径	3～4 cm
観賞期草丈	200 cm～
観賞期株張	～100 cm
開花性	連続
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

初夏から秋まで花が連続して咲くので、長くグリーンカーテンを楽しめる。分枝性は良いが、イボメア属のつる植物と比べるとつるの伸長が遅い。肥料が多すぎると花つきが悪くなるので、過剰施肥にならないよう注意する。栽植密度は1m幅のネットに3株程度が目安。

ミナ ロバータ

Ipomoea ヒルガオ科

赤～白のグラデーションが美しい、花穂が楽しめる。咲き始めはやや遅いが、1花あたりの開花期が長く、非常に華やかなグリーンカーテンとなる。

生産状況

出荷時期

4～6月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	中
耐乾性	中
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3 ～ 3.5 寸
草丈	20cm ～
株張	15cm ～

栽培事例と栽培上の留意点

「ジャングルクイーン」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：25℃

短日植物であるため、播種期を前進すると株が充実する前に開花し、早期に枯れあがる。ハダニが発生しやすい。

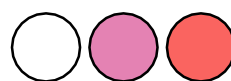
利用場面

草姿	つる性
利用法	グリーンカーテン
花径	8 cm（花穂）
観賞期草丈	200 cm ～
観賞期株張	～ 100 cm
開花性	連続
観賞期間	8 ～ 10月

効果的な使用方法と留意点

他のつる植物に比べて開花期が遅いが、1～2cmの花が連なって大量かつ長期間咲く。長尺化すれば（別頁補足資料5を参照）、6月中下旬頃の定植が可能である。栽植密度は1m幅のネットに3株程度が目安。早く花を楽しみたい場合は、他の品目も組み合わせると良い。

ルコウソウ *Ipomoea* ヒルガオ科



別名、サイプレスバイン。細く柔らかいつると、鳥の羽のような繊細で切れ込みの深い葉が、涼感あふれる日陰を生み出す。白、ピンク、赤などの小さな星形の花が連続的に咲く。

生産状況

出荷時期

4～6月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	強
耐乾性	中
耐陰性	弱

入手規格

ポットサイズ	3～3.5 寸
草丈	20cm～
株張	15cm～

栽培事例と栽培上の留意点

「ホワイトルコウ」（生産地：千葉）



加温：なし
換気：25℃

生育初期は主枝が伸びやすいため、本葉3～4枚で摘心し、側枝を伸ばす。

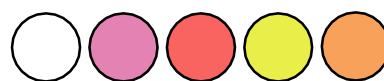
利用場面

草姿	つる性
利用法	グリーンカーテン
花径	8 cm（花穂）
観賞期草丈	200 cm～
観賞期株張	～ 100 cm
開花性	連続
観賞期間	6～9月

効果的な使用方法と留意点

栽植密度は1 m幅のネットに3株を目安とする。ネットに這わせる時に、つるをきれいに分散させるように誘引する。複数の花色を混植すると、より美しい。近縁種のマルバルコウ（難防除雑草）などと容易に交雑し、こぼれダネで増えるので、野生化しないよう注意が必要である。

アジアティック系ユリ

Lilium Asiatic Group ユリ科

エゾスカシユリとイワトユリの交雑種を用い、複雑な種間交配によって育成された品種群。花は杯状上向きで、花色や葉の形状など多様化している。品種は、白色の「ナボナ」、橙色の「トレシック」、黄色の「ギロンデ」などがある。

生産状況

出荷時期

通 年

出荷量： 多

耐候性

耐雨性 弱

耐乾性 中

耐陰性 弱

入手規格

球根

球周 10 ～ 16 cm

栽培事例と栽培上の留意点

「ナボナ」（生産地：埼玉）



植え付け直後は乾燥や高温を避ける。ネダニや疫病など、植え付け前に防除を行う（芽伸ばしについては、補足資料7の注3を参照）。

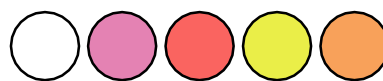
効果的な使用方法と留意点

高地温の土壤に直接定植すると発根不良になるため、ゆっくり解凍し芽伸ばしを行った球根を用いると良い。保水性に富み、排水良好な土壤を好む。植え付けの深さは、おおむね球根の2倍程度とする。低日照下では、花蕾の落下や発育停止をひき起こすので注意が必要である。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植
花径	15 ～ 18 cm
観賞期草丈	90 ～ 110 cm
観賞期株張	35 cm
開花性	一季性
観賞期間	6 ～ 9月

LA系ユリ *Lilium* LA Group ユリ科



胚培養の技術によって育成された、テッポウユリとスカシユリ（アジアティック系）の交配種。アジアティック系に比べて花が大きく、花色も豊富で、橙色の「チェーザレ」、桃色の「セナ」、黄色の「エルディーボ」などがある。

生産状況

出荷時期

通 年

出荷量： 多

耐候性

耐雨性	弱
-----	---

耐乾性	中
-----	---

耐陰性	弱
-----	---

入手規格

球根	球周 12 ～ 16 cm
----	---------------

栽培事例と栽培上の留意点

「チェーザレ」（生産地：埼玉）



植え付け直後は乾燥や高温を避ける。ネダニや疫病など、植え付け前に防除を行う（芽伸ばしについては、補足資料7の注3を参照）。

効果的な使用方法と留意点

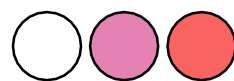
高地温の土壤に直接定植すると発根不良になるため、ゆっくり解凍し芽伸ばしを行った球根を用いると良い。品種により早晚があるが、植え付け後60日ほどで開花する。低日照下では、花蕾の落下や発育停止をひき起こすので注意が必要である。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植
花径	15 ～ 18 cm
観賞期草丈	90 ～ 130 cm
観賞期株張	35 cm
開花性	一季性
観賞期間	6 ～ 9月

オリエンタル系ユリ

Lilium Oriental Group ユリ科



ヤマユリやカノコユリなど、極東に自生する種をもとに育成された品種群で、香りを持つものが多い。桃色の「ソルボンヌ」、白色の「シベリア」、赤色の「アカプルコ」などがあり、新しい品種が次々と育成されている。

生産状況

出荷時期

通年

出荷量：多

耐候性

耐雨性	弱
-----	---

耐乾性	中
-----	---

耐陰性	弱
-----	---

入手規格

球根	球周 14 ~ 24 cm
----	---------------

栽培事例と栽培上の留意点

「ソルボンヌ」（生産地：埼玉）

芽伸ばし



5/22 6/7 8/2

植え付け直後は乾燥や高温を避ける。ネダニや疫病など、植え付け前に防除を行う（芽伸ばしについては、補足資料7の注3を参照）。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植
花径	15 ~ 22 cm
観賞期草丈	70 ~ 130 cm
観賞期株張	40 cm
開花性	一季性
観賞期間	6 ~ 9 月

効果的な使用方法と留意点

大型の草姿に大輪の花で、ひときわ人目を引く。ゆっくり解凍し芽伸ばしを行った球根を用いれば、夏季の開花が可能である。アジアティック系やLA系に比べ、開花までの日数は長く、品種間差が大きい。品種によって蕾の奇形や蕾焼けが発生しやすいので注意が必要である。

カラジウム *Caladium* サトイモ科



熱帯アメリカに7種ほど自生している球根植物。多様な品種があり、熱帯的な雰囲気を出すカラフルな葉の模様を持つ。

生産状況

出荷時期

5～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性 弱

耐乾性 弱

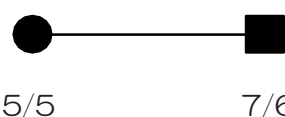
耐陰性 中

入手規格

球根	径 3 ～ 9 cm
苗・鉢	4 ～ 6 寸

栽培事例と栽培上の留意点

「ホワイトクリスマス」（生産地：埼玉）



加温：18℃

換気：25℃

高温時の多湿は徒長しやすく、葉縁などに褐色病斑が生じることがある。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	10 ～ 30 cm
観賞期草丈	10 ～ 30 cm
観賞期間	6 ～ 9月

効果的な使用方法と留意点

夏の間、鮮やかな葉色を楽しむ。5月に入ってから植え付け、球根の上に1～2cmの土がかぶさるくらいの浅植えにする。慣れると強い直射日光にもある程度耐えるが、真夏は葉焼けを起こすことがある。水分を好む植物であるが、過湿にすると徒長しやすく球根が腐ることがある。苗や鉢の流通は少ない。

グラジオラス *Gladiolus* アヤメ科



南アフリカを中心に自生し、強健な性質を持つ。葉は剣状で穂状に花をつける球根植物。花の色彩は豊富で、ほとんどの色が揃う。大きさも極めて小輪から巨大輪まで幅があり、花の形も様々である。

生産状況

出荷時期

2 ~ 4 月

出荷量： 中

耐候性

耐雨性	弱
-----	---

耐乾性	中
-----	---

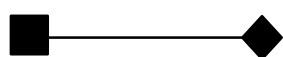
耐陰性	弱
-----	---

入手規格

球根	球周 8 ~ 14 cm
----	--------------

栽培事例と栽培上の留意点

「祝典」（生産地：埼玉）



4/22

7/11

連作と弱光を嫌う。ヨトウムシ、アブラムシ、ハダニの発生が多い。

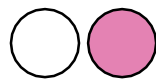
利用場面

草姿	立性
利用法	単植
花径	7 ~ 14 cm
観賞期草丈	50 ~ 150 cm
観賞期株張	10 ~ 20 cm
開花性	一季性
観賞期間	6 ~ 9 月

効果的な使用方法と留意点

高性のため、花壇の後方に植え付ければアクセントになる。夏咲きと春咲きがあり、夏咲きの植え付け適期は3月下旬～6月上旬で、植え付けてから70～100日で開花する。球根は大型で、根も良く張る。日当たりの良い場所を好み、多湿を嫌う。球根は10cmほど土をかぶせて、15cm間隔で植え付ける。

クルクマ *Curcuma* ショウガ科



熱帯アジア原産の球根植物。初夏から夏に、形が蓮の花に似た美しいピンクや白の苞葉が重なってトーチのようになる。本来の花は苞葉の間に隠れるように咲く。

生産状況

出荷時期

3～6月

出荷量： 少

耐候性

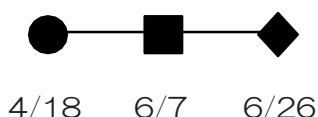
耐雨性	中
耐乾性	弱
耐陰性	弱

入手規格

球根	径 3 ～ 4 cm
苗・鉢	3 ～ 3.5 寸

栽培事例と栽培上の留意点

「ピンクパール」（生産地：埼玉）



加温：なし
換気：25℃

最低夜温15℃以上で管理。湿度が高くと、さび斑病が発生しやすい。

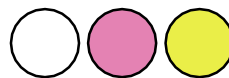
利用場面

草姿	立性
利用法	単植
観賞期草丈	30 ～ 100 cm
観賞期株張	30 ～ 100 cm
開花性	一季性
観賞期間	7 ～ 9月

効果的な使用方法と留意点

暑さに強く、1か月以上美しい色を維持する。良く日光に当たる所のほうが花つきが良くなり、草姿もコンパクトにまとまる。乾燥を嫌い、十分な水分が必要。花壇に球根を植え付けるのは5月中旬ごろが適期で、20～30cmの間隔で地表から5cmほどの深さに植え付ける。苗や鉢の流通は少ない。

ゼフィランサス *Zephyranthes* ヒガンバナ科



南アメリカ原産で、草丈の低い球根植物。葉はずっと伸び、花色は白色の「カンジダ」（玉すだれ）の他、桃色の「カリナータ」、黄色の「シトリナ」などがある。

生産状況

出荷時期

3～6月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	強
-----	---

耐乾性	強
-----	---

耐陰性	強
-----	---

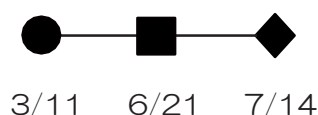
入手規格

球根	径 2 ～ 3 cm
----	------------

苗・鉢	3 ～ 4 寸
-----	---------

栽培事例と栽培上の留意点

「カンジダ」（生産地：埼玉）



加温：なし
換気：25℃

過湿を嫌うので、排水の良い用土を用い、乾燥気味に管理。球根にキノコバエ、花蕾にアザミウマが発生しやすい。

利用場面

草姿	立性
----	----

利用法	単植、混植
-----	-------

花径	3 ～ 6 cm
----	----------

観賞期草丈	20 cm
-------	-------

観賞期株張	5 ～ 10 cm
-------	-----------

開花性	連続
-----	----

観賞期間	7 ～ 9月
------	--------

効果的な使用方法と留意点

一つの花は数日間ほどと短命だが、次々と新しい花序が出てくるので、密植すると長く楽しめる。草丈が低いので、花壇の縁取りとしても利用できる。3月中旬～4月下旬に球根の上部から5cmくらい覆土し、5～10cmの間隔で植え付ける。2～3枚の葉を形成するごとに花芽分化し、1年間に3～4個の花序が形成され、7～9月に順次開花する。

ハブランサス *Habranthus* ヒガンバナ科



ゼフィランサスとよく似ている球根植物。ゼフィランサスは花を上向きに咲かせるのに対し、ハブランサスはやや横向きに咲かせる。花色が桃色の「ロブスタス」、「チェリーピンク」などがある。

生産状況

出荷時期

3月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	強
-----	---

耐乾性	強
-----	---

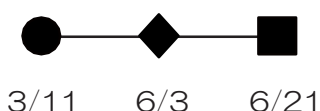
耐陰性	中
-----	---

入手規格

球根	径 2 ～ 3 cm
----	------------

栽培事例と栽培上の留意点

「ロブスタス」（生産地：埼玉）



加温：なし
換気：25℃

過湿を嫌うので、排水の良い用土を用い、乾燥気味に管理。球根にキノコバエ、花蕾にアザミウマが発生しやすい。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
花径	3 ～ 6 cm
観賞期草丈	20 cm
観賞期株張	10 cm
開花性	連続
観賞期間	6 ～ 9月

効果的な使用方法と留意点

草丈が低いので、花壇の縁取りとしても利用できる。日当たりと水はけの良いところを好み、3月中旬～4月下旬に、5～10cmの間隔で球根の上部から覆土を5cmくらいして植え付ける。球根は密植すると良く育ち、開花がきれいである。葉を4枚形成すると花芽を分化し、1年間に2～3花開花する。

ユーコミス *Eucomis* キジカクシ科



南アフリカ原産の球根植物で、夏に太い花茎を伸ばし、その頂部に星形の小さな花を多数つけ、先端に葉を茂らせる。その姿から、パイナップルリリーとも呼ばれ、香りのある品種もある。

生産状況

出荷時期

2～7月

出荷量：少

耐候性

耐雨性	弱
-----	---

耐乾性	弱
-----	---

耐陰性	中
-----	---

入手規格

球根	径 5 ～ 10 cm
苗・鉢	4 ～ 6 寸

栽培事例と栽培上の留意点

「アロハリリーレイア」（生産地：埼玉）



5/5

7/6

7/14

加温：なし
換気：25℃

草勢は旺盛で、生育期間中は水分を多く必要とする。チョウ目害虫の食害に注意。

利用場面

草姿	立性
利用法	単植、混植
観賞期草丈	15 ～ 100 cm
観賞期株張	30 ～ 80 cm
開花性	一季性
観賞期間	7 ～ 8月

効果的な使用方法と留意点

開花期間が長く、夏に1か月ほど楽しめ、葉も美しい。風通しと日当たりの良い場所を好み、水はけが良く有機質に富んだ土壌が適している。3～4月に、球根の先が地表から深さ5～10cmの場所になるように植え付ける。葉が横に広がるので、植える間隔は少し広め（20～30cm）にする。

推奨品目・品種一覧（2014～2017）

花壇苗①

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
1 アゲラタム	アーティスト バッソブルー	シンジェンタジャパン	青海	
2 アゲラタム	トップブルー	サカタのタネ	池袋・青海・ドーム	
3 アサガオ	恋しぐれ チョコ	石井フラワーガーデン	青海	
4 アサガオ	恋しぐれ ピンク	石井フラワーガーデン	青海	
5 アサガオ	恋しぐれ ラベンダー	石井フラワーガーデン	青海	
6 アサガオ	サンスマイル 混合	タキイ種苗	立川	
7 アマランサス	アーリースプレンドー	サカタのタネ	青海	
8 アメリカフヨウ×モミジアオイ	タイタンピカス アドニス	赤塚植物園	池袋	
9 アンゲロニア	アークエンジェル ダークパープル	M&B	青海	
10 アンゲロニア	アークエンジェル パープル	M&B	青海	
11 アンゲロニア	アークエンジェル ホワイト	M&B	青海	
12 アンゲロニア	エンジェルズ ラベンダーピンク	高松商事	青海	
13 アンゲロニア	エンジェルズ ブルー	高松商事	青海	
14 アンゲロニア	セレナ ホワイト	M&B	池袋・立川	
15 アンゲロニア	セレナ パープル	M&B	池袋・立川	
16 アンゲロニア	セレナ ラベンダー	M&B	池袋	廃番
17 アンゲロニア	セレナ ラベンダーピンク	M&B	池袋・青海・日比谷	
18 アンゲロニア	セレニータ スカイブルー	M&B	青海	
19 アンゲロニア	セレニータ パープル	M&B	青海・立川	
20 アンゲロニア	セレニータ ピンク	M&B	青海・日比谷	
21 アンゲロニア	セレニータ ホワイト	M&B	青海・立川	
22 アンゲロニア	セレニータ ラズベリー	M&B	青海	
23 アンゲロニア	ミッドフレア ピンクハイカラー	カネコ種苗	青海	
24 カリブラコア	カブルーム ディープピンク	M&B	青海	
25 カリブラコア	カブルーム ディープブルー	M&B	青海	
26 カリブラコア	キャンキャン コーラルリーフ	M&B	青海	
27 カリブラコア	サンバ ホワイト	M&B	青海	
28 カリブラコア	サンバ ディープイエロー	M&B	青海	
29 カリブラコア	シャル・ウィ・ダンス スカイブルー	M&B	青海	
30 カリブラコア	シャル・ウィ・ダンス ラベンダー	M&B	青海	廃番
31 カリブラコア	ティエルノ ダブルスカーレット	松原園芸	青海	
32 カリブラコア	ティエルノ ホワイト	松原園芸	青海	
33 カリブラコア	ミリオンベル イエロー	サントリーフラワーズ	池袋	
34 ガレキフォリア	ホワイトスワン	グリーンルーツ	池袋	
35 カンナ	サウスパシフィック スカーレット	タキイ種苗	青海・立川・日比谷	
36 カンナ	トロピカル ローズ	タキイ種苗	立川	
37 カンナ	トロピカル イエロー	タキイ種苗	立川	
38 キンギョソウ	シャベット	レイハウス	青海	
39 クレオメ	セニョリータ カロリーナ	ハクサン	青海	
40 クレオメ	セニョリータ フランカ	ハクサン	青海	
41 クレオメ	カラーファウンティン ミックス	タキイ種苗	日比谷	
42 ケイトウ	アーティスト バッソブルー	村上シード	青海	
43 ケイトウ	キャッスル イエロー	タキイ種苗	青海	
44 ケイトウ	キャッスル オレンジ	タキイ種苗	青海	
45 ケイトウ	クロスファイア スカーレット	高松商事	青海	
46 ケイトウ	クロスファイア マゼンタ	高松商事	青海	
47 ケイトウ	サマーラベンダー	M&B	青海	
48 ケイトウ	スマートルック レッド	タキイ種苗	青海・立川	
49 ケイトウ	チャイナタウン	サカタのタネ	青海・日比谷	
50 サルビア	チェリーセンセーション	横浜植木	池袋・ドーム	
51 サルビア	ナナディープブルー	サカタのタネ	池袋	
52 サルビア	パープルマジェスティ	M&B	池袋	
53 サルビア	ファイヤーセンセーション	横浜植木	池袋・ドーム	
54 サルビア	ミスティックスバイヤーズブルー	M&B	青海	
55 シニア	ザハラ イエロー	M&B	青海・立川	
56 シニア	ザハラ ファイヤー	M&B	青海・立川	
57 シニア	ザハラ ホワイト	M&B	青海	
58 シニア	ダブルザハラ ファイヤー	M&B	青海	
59 シニア	ドリームランド イエロー	タキイ種苗	青海	
60 シニア	ドリームランド カーミン	タキイ種苗	青海	
61 シニア	ブチランド ホワイト	タキイ種苗	青海・立川	
62 シニア	ブチランド イエロー	タキイ種苗	立川	
63 シニア	プロフュージョン レッド	サカタのタネ	青海	
64 シニア	プロフュージョン レモン	サカタのタネ	青海	
65 シニア	プロフュージョン ダブルイエロー	サカタのタネ	青海	
66 シニア	プロフュージョン ダブルゴールデン	サカタのタネ	青海	
67 シニア	プロフュージョン ダブルホワイト	サカタのタネ	青海	
68 センニチコウ	オードリー パーフルレッド	タキイ種苗	青海	
69 センニチコウ	オードリー ピンクインプ	タキイ種苗	青海	
70 センニチコウ	オードリー ホワイト	タキイ種苗	青海	
71 センニチコウ	ネオン ホワイト	サカタのタネ	青海	
72 センニチコウ	ネオン ローズ	サカタのタネ	池袋・青海・日比谷	
73 ダイアンサス	ジョルト ピンク	M&B	立川	
74 トウガラシ	ブラックパール	M&B	青海・日比谷	
75 トウテイラン		島根大学	青海	
76 トレニア	サイクロン バーガンディー	サカタのタネ	青海	
77 トレニア	サイクロン バイオレット	サカタのタネ	青海	
78 トレニア	サイクロン ホワイト	サカタのタネ	青海・日比谷	
79 トレニア	サイクロン ローズビコティ	サカタのタネ	青海	
80 ナデシコ	初恋	タキイ種苗	青海	

花壇苗②

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
81 ニューギニアインパチェンス	サンハーモニー オレンジ	高松商事	青海	
82 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス コロナオレンジ	サカタのタネ	池袋	
83 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス ホワイト	サカタのタネ	池袋	
84 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス さくさくパッション オレンジ	サカタのタネ	池袋・日比谷	
85 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス さくさくホワイト	サカタのタネ	池袋	
86 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス さくさくライラック	サカタのタネ	池袋・ドーム	廃番
87 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス スイートピーチ	サカタのタネ	池袋	廃番
88 ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス ピーチブラッシュ	サカタのタネ	池袋・ドーム	廃番
89 ニューギニアインパチェンス	ディバイン ホワイト	M&B	青海	
90 ニューギニアインパチェンス	バウンス チェリー	M&B	立川	
91 バーベナ	花手毬 バイオレット	サントリーフラワーズ	池袋	
92 バーベナ	エンデュラスケープ ピンク バイカラー	M&B	青海	
93 バーベナ	エンデュラスケープ レッド	M&B	青海	
94 ヒマワリ	スプレー ヒマワリ 風炎	北越農事(株)	青海	
95 ピンカ	コーラ アプリコット	シンジエンタジャパン	青海	
96 ピンカ	コーラ ストロベリー	シンジエンタジャパン	青海・立川	
97 ピンカ	コーラ ディーフラベンダー	シンジエンタジャパン	青海	
98 ピンカ	コーラ ピンク	シンジエンタジャパン	青海	
99 ピンカ	コーラ ホワイト	シンジエンタジャパン	青海	
100 ピンカ	コーラ レッド	シンジエンタジャパン	青海・立川	
101 ピンカ	サンストーム ホワイトウィズアイ	シンジエンタジャパン	立川	
102 ピンカ	サンストーム ライトブルー	シンジエンタジャパン	立川	
103 ピンカ	サンダー アプリコット	サカタのタネ	青海	
104 ピンカ	サンダー オーキッドハロー	サカタのタネ	青海・立川	
105 ピンカ	サンダー グレープ	サカタのタネ	青海・立川	
106 ピンカ	サンダー ピンク	サカタのタネ	青海・立川	
107 ピンカ	サンダー ピンクハロー	サカタのタネ	青海・立川	
108 ピンカ	サンダー ボルカドット	サカタのタネ	青海	
109 ピンカ	サンダー ホワイト	サカタのタネ	青海	
110 ピンカ	サンダー ラズベリー	サカタのタネ	青海・立川	
111 ピンカ	サンダー レッド	サカタのタネ	青海・立川・ドーム	
112 ピンカ	サンビーナス ピンク	サントリーフラワーズ	池袋	
113 ピンカ	サンビーナス ホワイト	サントリーフラワーズ	池袋	
114 ピンカ	シャムズアンドジェリー ブラックベリー	M&B	立川	
115 ピンカ	タイタン アイシーピンク	M&B	青海・立川	
116 ピンカ	タイタン アプリコット	M&B	青海・立川	
117 ピンカ	タイタン ダークレッド	M&B	青海・立川	
118 ピンカ	タイタン バーガンディ	M&B	青海	
119 ピンカ	タイタン バーガンディインプ	タキイ種苗	立川	
120 ピンカ	タイタン パンチ	M&B	青海	
121 ピンカ	タイタン ビュアホワイト	M&B	青海	
122 ピンカ	タイタン ブラッシュ	タキイ種苗	立川	
123 ピンカ	タイタン ボルカドット	M&B	青海・立川	
124 ピンカ	タイタン ラベンダーブルーハロ	M&B	青海・立川	
125 ピンカ	タイタン ローズハロ	M&B	立川	
126 ピンカ	夏花火 コーラル	M&B	池袋	
127 ピンカ	夏花火 ホワイトレッドアイ	M&B	池袋	
128 ピンカ	パシフィカXP アプリコット	タキイ種苗	立川	
129 ピンカ	パシフィカXP バーガンディハロ	M&B	立川	
130 ピンカ	パシフィカXP ボルカドット	タキイ種苗	立川	
131 ピンカ	パシフィカXP リアリーレッド	タキイ種苗	立川	
132 ピンカ	バリエント オーキッド	M&B	青海	
133 ピンカ	バリエント バーガンディ	M&B	青海・立川	
134 ピンカ	バリエント パンチ	M&B	青海	
135 ピンカ	バリエント ビュアホワイト	M&B	立川	
136 ピンカ	バリエント ライラック	M&B	青海	
137 ピンカ	フェアリースター コーラルピンク	サントリーフラワーズ	池袋	
138 ピンカ	フェアリースター ホワイト	サントリーフラワーズ	池袋	
139 ピンカ	フェアリースター ミルキーピンク	サントリーフラワーズ	池袋	
140 ピンカ	ミニナツ カザグルマ	M&B	池袋・青海・立川	
141 ピンカ	ミニナツ カザグルマピンク	M&B	池袋・青海・立川	
142 ピンカ	ミニナツ ストロベリー	M&B	池袋・青海・立川	
143 ピンカ	ミニナツ ピーチオレ	M&B	池袋・青海・立川	
144 ベゴニア	アンバサダー ピンク	サカタのタネ	青海	
145 ベゴニア	セネタ ローズバイカラー	サカタのタネ	青海	
146 ベゴニア	パソダブル ホワイト	タキイ種苗	立川	
147 ベゴニア	パソダブル ライトピンク	タキイ種苗	立川	
148 ベゴニア	パソダブル レッド	タキイ種苗	立川	
149 ベゴニア	ビッグ 銅葉ローズ	HIJ-フジフローラ	青海	
150 ベゴニア	ビッグ 銅葉レッド	HIJ-フジフローラ	青海	
151 ベゴニア	ビッグデラックス 銅葉レッド	HIJ-フジフローラ	青海	
152 ベゴニア	ビッグデラックス 銅葉ローズ	HIJ-フジフローラ	青海	
153 ベゴニア	メガワット ローズ	M&B	青海	
154 ベゴニア	ワッパー レッドグリーンリーフ	M&B	立川	
155 ベゴニア	ワッパー レッドブロンズリーフ	M&B	池袋・青海・立川・日比谷	
156 ベゴニア	ワッパー ローズグリーンリーフ	M&B	池袋・青海・立川・日比谷	
157 ベゴニア	ワッパー ローズブロンズリーフ	M&B	池袋・立川	

花壇苗③

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
158	ベチュニア アンペチュ (パープル)	安達園芸	池袋	
159	ベチュニア アンペチュ (ピンク)	安達園芸	池袋・青海	
160	ベチュニア アンペチュ (薄ピンク)	安達園芸	池袋	
161	ベチュニア アンペチュ (赤紫)	安達園芸	青海	
162	ベチュニア 粋な小町	ハルティン	青海	
163	ベチュニア お雪ちゃん	風のみどり塾	青海	
164	ベチュニア サーモン マジック	ケブラナガトヨ	青海	
165	ベチュニア さくらさくら	風のみどり塾	青海	
166	ベチュニア サフィニアマックス オレンジ	サントリーフラワーズ	池袋	
167	ベチュニア サフィニアマックス グレープ	サントリーフラワーズ	池袋	
168	ベチュニア サフィニアマックス ピンク	サントリーフラワーズ	池袋・立川	
169	ベチュニア スーパーチュニア ヒスタ ピンク	ハクサン	青海	
170	ベチュニア スーパーチュニア ヒスタ ミニピンクスター	ハクサン	青海	
171	ベチュニア スーパーチュニア ヒスタ ミニピンクベイン	ハクサン	青海	
172	ベチュニア スーパーチュニア ヒスタ ミニブルースター	ハクサン	青海	
173	ベチュニア スーパーチュニア ブルーモーンプラス	ハクサン	青海	
174	ベチュニア スプレッド ホワイト	サカタのタネ	青海	
175	ベチュニア ソフィアの宝石 バイオレット	村岡オーガニック	池袋	
176	ベチュニア TOKYO	風のみどり塾	青海	
177	ベチュニア なっちゅん すもも	M&B	池袋・青海・立川	
178	ベチュニア なっちゅん もも	M&B	青海	
179	ベチュニア なっちゅん れもねーど	M&B	青海	
180	ベチュニア なっちゅん れもん	M&B	青海	
181	ベチュニア バイプレイヤー	ケブラナガトヨ	青海	
182	ベチュニア プレミアムコレクション	M&B	青海	
183	ベチュニア ベルベット パープル	ケブラナガトヨ	青海	
184	ベチュニア 穂希	ケブラナガトヨ	青海	
185	ベチュニア マドンナの宝石	村岡オーガニック	池袋	
186	ベチュニア 桃色吐息	風のみどり塾	青海	
187	ベチュニア 妖精のチュチュ フェアリーピンク	松原園芸	青海	
188	ベントス キャラクシー	M&B	池袋	
189	ベントス グラフィティ ピンク	サカタのタネ	青海・日比谷	
190	ベントス バタフライ オーキッド	M&B	青海	
191	ベントス バタフライ ディーフローズ	M&B	青海	
192	ベントス バタフライ ホワイト	M&B	青海	
193	ベントス バタフライ レッド	M&B	青海	
194	ベントス バナスカリ ラベンダー	サントリーフラワーズ	立川	
195	ベントス バナスカリ ピンク	サントリーフラワーズ	立川	
196	ベントス パニックタワー ピンク	カネコ種苗	青海	
197	ベントス パニックタワー ホワイト	カネコ種苗	青海	
198	ベントス パニックタワー レッド	カネコ種苗	青海	
199	ベントス ラッキースター ダークレッド	M&B	青海	
200	ベントス ラッキースター バイオレット	M&B	青海	
201	ベントス ラッキースター ピンク	M&B	池袋	
202	ベントス ラッキースター ラベンダー	M&B	青海	
203	ボーチュラ サマーベビー エロー	石井フラワーガーデン	青海	
204	ボーチュラ サマーベビー オレンジ	石井フラワーガーデン	青海	
205	ボーチュラ サマーベビー ピンク	石井フラワーガーデン	青海	
206	ボーチュラ サマーベビー ホワイト	石井フラワーガーデン	青海	
207	ボーチュラ サマーベビー ローズバイカラー	石井フラワーガーデン	青海	
208	ボーチュラ サマージョイ ワインレッド	石井フラワーガーデン	青海	
209	ボーチュラ サンちゅらか イエロー	サカタのタネ	池袋・青海	
210	ボーチュラ サンちゅらか オレンジ	サカタのタネ	青海	
211	ボーチュラ サンちゅらか チェリーレッド	サカタのタネ	池袋	廃番
212	ボーチュラ サンちゅらか ピンク	サカタのタネ	青海	
213	ボーチュラ サンちゅらか ホワイト	サカタのタネ	池袋・青海	
214	ボーチュラ サンちゅらか ライトピンク	サカタのタネ	青海	廃番
215	ボーチュラ サンちゅらか レッド	サカタのタネ	青海	
216	ボーチュラ サンちゅらか レモンイエロー	サカタのタネ	池袋・青海	廃番
217	ボーチュラ サンちゅらか ローズ	サカタのタネ	池袋・青海	
218	ボーチュラ 園 スカーレット	石井フラワーガーデン	青海	
219	ボーチュラ 園 ハーモニーファイヤー	石井フラワーガーデン	青海	
220	ボーチュラ 園 レッド	石井フラワーガーデン	青海	
221	ボーチュラ 華ミステリア	石井フラワーガーデン	青海	
222	ボーチュラ フェリーチェ イエロースター	ハクサン	青海	
223	ボーチュラ フェリーチェ オレンジスター	ハクサン	青海	
224	マツバボタン ハッピーアワー オレンジ	タキイ種苗	立川	
225	マツバボタン ハッピーアワー ココナッツ	タキイ種苗	立川	
226	マツバボタン ハッピーアワー パナナ	タキイ種苗	立川	
227	マツバボタン ハッピーアワー ロジータ	タキイ種苗	立川	
228	マリーゴールド サファリ イエロー	タキイ種苗	立川	
229	マリーゴールド ディスコ イエロー	タキイ種苗	立川	
230	マリーゴールド デュランゴ イエロー	M&B	立川	
231	マリーゴールド ブラウドマリー オレンジ	サカタのタネ	青海	
232	マリーゴールド ホットバック ファイヤー	M&B	青海	
233	マリーゴールド ボナンザ オレンジ	タキイ種苗	立川	
234	マリーゴールド リトルヒーロー オレンジ	M&B	青海	
235	マンデビラ サマーティエラ ライトピンク	松原園芸	青海	
236	メカルドニア イエロークロサイト	サカタのタネ	池袋・青海	
237	メカルドニア イエロージュエル	サカタのタネ	池袋・青海	
238	メカルドニア ゴールドダスト	ハクサン	青海	
239	メランポジウム カジノ レモン	タキイ種苗	青海	
240	メランポジウム ジャックポット	タキイ種苗	青海	
241	メランポジウム パラダイス	タキイ種苗	青海	
242	メランポジウム ミリオン ゴールド	タキイ種苗	青海・立川・日比谷	
243	メランポジウム ミリオン レモン	タキイ種苗	青海	
244	ユーフォルビア グラマー	M&B	青海	廃番
245	ランタナ スーパーサファイアブルー	サカタのタネ	青海	
246	ランタナ プロバンスブルー	サカタのタネ	青海	
247	ランタナ スーパーランタナ ムーンホワイト	ハクサン	青海	
248	ランタナ スーパーランタナ レインボーオレンジ	ハクサン	青海	
249	ランタナ ブルーミファイ レッド	M&B	青海	
250	ランタナ ブルーミファイ ローズ	M&B	青海	
251	ルドベキア プレーリーサン	サカタのタネ	池袋・日比谷	

カラーリーフ・グランドカバー①

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
1 アベリア	カレードスコープ	飯田グリーン	青海・千葉市・池袋	
2 アベリア	ラッキーロット	JA東京植木	青海	
3 アベリア	レディーリパティ	JA東京植木	青海	
4 イソレピス	ライブワイアー	M&B	青海・千葉市	
5 イボメア	アンティーク ローズ	ICHIRO COMPANY	青海	
6 イボメア	ソーラーパワー ブラック	M&B	青海・千葉市	
7 イボメア	ソーラーパワー ライム	M&B	青海・千葉市・日比谷	
8 イボメア	ダークブラウン	ICHIRO COMPANY	青海	
9 イボメア	テラスライム	サントリーフラワーズ	池袋・立川	
10 イボメア	トリカラー	ICHIRO COMPANY	青海	
11 イボメア	ブラッキー	ICHIRO COMPANY	青海	
12 イボメア	ライム	ICHIRO COMPANY	青海	
13 イネ	赤紫波	MSKガーデン	青海	
14 イネ	赤穂波	MSKガーデン	青海	
15 イネ	ブラック	MSKガーデン	青海	
16 イネ	ベにあそび	MSKガーデン	青海	
17 イネ	マロン	MSKガーデン	青海	
18 イネ	ゆきあそび	MSKガーデン	青海	
19 エラグロステリス	ウィンドダンサー	M&B	青海・千葉市	廃番
20 エリグロン		いんばマット・プランツ	青海・千葉市	
21 オレガノ	ノートンゴールド	山本花園	幕張	
22 オレガノ	ヘレンハウゼン	山本花園	幕張	
23 カレックス	アウバウム	タキイ種苗	青海・千葉市	
24 カレックス	エバリロ	JA東京植木	池袋	
25 カレックス	エバルディ	JA東京植木	池袋	
26 カレックス	エバーシーン	JA東京植木	池袋	
27 カレックス	エバーライム	JA東京植木	池袋	
28 カレックス	エベレスト	JA東京植木	池袋	
29 カレックス	フェニックスグリーン	M&B	青海・千葉市	
30 カレックス	フロスティッドカール	タキイ種苗	青海・千葉市	
31 カレックス	ブロンコ	M&B	青海・千葉市	
32 ケイトウ	レッドクリフ	サカタのタネ	青海・千葉市	
33 コキア	ほうきぐさ グリーン	サカタのタネ	池袋・青海・千葉市・幕張	
34 コリウス	アミーゴ	ハルティン	千葉市	
35 コリウス	愛しのエリー	ハルティン	千葉市	
36 コリウス	ウィザード MIX	タキイ種苗	幕張	
37 コリウス	ヴェルサ ウォーターメロン	M&B	青海	
38 コリウス	ヴェルサ クリムソンゴールド	M&B	青海	
39 コリウス	ヴェルサ ライム	M&B	青海	
40 コリウス	ヴェルサ ローズトゥーライム	M&B	青海	
41 コリウス	カウボーイ	ハルティン	千葉市	
42 コリウス	カニナこっちに來ないで エッジ	イワタニアグリグリーン	青海	
43 コリウス	カニナこっちに來ないで ティピカル	イワタニアグリグリーン	青海	
44 コリウス	カニナこっちに來ないで バリエガータ	イワタニアグリグリーン	青海	
45 コリウス	ゴリラ サーモンピンク	サカタのタネ	青海・千葉市	
46 コリウス	ゴリラ スカーレットVer.2	サカタのタネ	青海・千葉市	
47 コリウス	ゴリラ モザイク	サカタのタネ	青海・千葉市	
48 コリウス	ゴリラ ライムスプライト	サカタのタネ	青海・千葉市	
49 コリウス	ゴリラ レッド	サカタのタネ	青海・千葉市	
50 コリウス	ゴリラ ローズ	サカタのタネ	青海・千葉市	
51 コリウス	ゴリラJr. ウォーターメロン	サカタのタネ	青海・千葉市	
52 コリウス	ゴリラJr. ガーネット	サカタのタネ	池袋・青海・千葉市・日比谷	
53 コリウス	ゴリラJr. グリーンハロー	サカタのタネ	青海・千葉市・日比谷	
54 コリウス	ゴリラJr. ライムベイン	サカタのタネ	青海・千葉市	
55 コリウス	コレオザウルス	ハルティン	千葉市	
56 コリウス	サマータイム イエローウィズグリーン	サカタのタネ	千葉市	
57 コリウス	ハイウェイホワイト	サカタのタネ	千葉市・幕張	
58 コリウス	バルカン	ハルティン	千葉市	
59 コリウス	バンブキントーチ	ハルティン	青海	
60 コリウス	ピンタージベルベツト	ハルティン	千葉市	
61 コリウス	ホットビート	ハルティン	千葉市	
62 コリウス	摩天楼	ハルティン	千葉市	
63 コリウス	レッドヘッド	ハルティン	青海・千葉市	
64 コリウス	ローズベルベツト	ハルティン	千葉市	
65 コリウス	ワサビ	ハルティン	千葉市	
66 コリネフォラス	スパイキープルー	M&B	青海・千葉市	
67 コロカシア	コナコーヒー	いんばマット・プランツ	青海・千葉市	
68 サルスベリ	with love	JA東京植木	池袋	
69 サルスベリ	サマー 淡紫清	北越農事	青海	
70 サルスベリ	サマー 淡桃清	北越農事	青海	
71 ジャノヒゲ	リュウノヒゲ	成田ナーセリー	千葉市	
72 ステイパ	ボニーテール	M&B	青海・千葉市	
73 セダム	ゴールドビューティー	H&Lプランテーション	青海	
74 セダム	モリムランネングサ	H&Lプランテーション	青海	
75 ゼラニウム	スパイシー	イワタニアグリグリーン	青海	
76 ゼラニウム	ミントフレッシュ	イワタニアグリグリーン	青海	
77 タイム	ロンギカウリス	いんばマット・プランツ	千葉市	

カラーリーフ・グランドカバー②

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
78 ツルマサキ	エメラルドガイティ	飯田グリーン	青海・千葉市	
79 トベラ	hojo	JA東京植木	池袋	
80 ナンテン	オブセス	Plantnetwork	青海・千葉市	
81 ニューサイラン	ブラックレイジ	ハルディン	青海・千葉市	
82 ニューサイラン	サーファーフロンズ	ハルディン	青海・千葉市	
83 ハイビスカス	アデネ	JA東京植木	池袋	
84 ハイビスカス	アドニス	JA東京植木	池袋	
85 ハイビスカス	アドニス パール	JA東京植木	池袋	
86 ハイビスカス	アドニス マンゴー	JA東京植木	池袋	
87 ハイビスカス	アリオン	JA東京植木	池袋	
88 ハイビスカス	ボルケーノ	JA東京植木	池袋	
89 ハイビスカス	ボレアス イエロー	JA東京植木	池袋	
90 ハイビスカス	マホガニースプレンドー	M&B	青海	
91 ハゲイトウ	アーリースプレンドー	サカタのタネ	青海・千葉市	
92 ハゲイトウ	イエロースプレンドー	サカタのタネ	青海・千葉市	
93 ハゲイトウ	イルミネーション	サカタのタネ	青海・千葉市	
94 ハゲイトウ	トリカラーパーフェクタ	サカタのタネ	青海・千葉市	
95 ハツユキソウ	氷河	タキイ種苗	青海・千葉市	
96 ヒボエステス	コンフェッティ ピンク	サカタのタネ	青海・千葉市	
97 ヒボエステス	コンフェッティ ホワイト	サカタのタネ	青海・千葉市	
98 ヒボエステス	コンフェッティ ローズ	サカタのタネ	青海・千葉市	
99 ヒメイワダレソウ	リッピア	いんばマット・プランツ	青海・千葉市	
100 ヒメマサキ	オウゴンヒメマサキ	飯田グリーン	青海・千葉市	
101 ヘリクリサム	ティアンスカニクム	村山ガーデン	幕張	
102 ミレット	パープルマジスティ	M&B	青海・千葉市	
103 ムラサキオモト	オーロラ	ジッポー	青海	
104 ヤブラン		成田ナーセリー	千葉市	
105 ユンカス	ブルーダート	M&B	青海・千葉市	
106 ユンカス	ジャベリン	M&B	青海・千葉市	
107 ローズマリー		いんばマット・プランツ	千葉市	
108 ロニセラ	ニティダ	いんばマット・プランツ	青海・千葉市	

つる植物

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
1 アサガオ	アーリーヘブンリーブルー	フクカエン	青海・千葉市	
2 アサガオ	ヴェニスブルー	M&B	青海・千葉市	廃番
3 アサガオ	シャドーダンス	M&B	千葉市	廃番
4 アサガオ	ヘブンリーブルー	M&B	千葉市	廃番
5 アサガオ	ボヘミアンシェード	M&B	千葉市	廃番
6 アサガオ	ラヴィアンローズ	M&B	千葉市	廃番
7 アサガオ	琉球アサガオ クリスタルブルー	木村園芸	千葉市	
8 ツンベルギア アラタ	アフリカンサンセット	M&B	千葉市	
9 ミナ ロパータ	ジャングルクイーン	M&B	千葉市	
10 ルコウソウ	ホワイト	M&B	千葉市	
11 ルコウソウ	レッド	M&B	千葉市	

球根植物

品目	品種	取扱会社	実証場所	備考
1 アジアティック系ユリ	ギロンデ	新潟県花卉球根 農業協同組合	熊谷	
2 アジアティック系ユリ	トレシック	新潟県花卉球根 農業協同組合	熊谷	
3 アジアティック系ユリ	ナボナ	新潟県花卉球根 農業協同組合	熊谷	
4 LA系ユリ	アルパタックス	フクカエン	熊谷	
5 LA系ユリ	アルプフェイラ	フクカエン	熊谷	
6 LA系ユリ	イエローダイヤモンド	フクカエン	熊谷	
7 LA系ユリ	インディアンダイヤモンド	フクカエン	熊谷	
8 LA系ユリ	クープレット	フクカエン	熊谷	
9 LA系ユリ	クーリア	フクカエン	熊谷	
10 LA系ユリ	チェーザレ	フクカエン	熊谷	
11 OT系ユリ	バルベルデ	フクカエン	熊谷	
12 オリエンタル系ユリ	エマニー	フクカエン	熊谷	
13 オリエンタル系ユリ	シーラ	フクカエン	熊谷	
14 オリエンタル系ユリ	シベリア	新潟県花卉球根 農業協同組合	熊谷	
15 オリエンタル系ユリ	ソルボンヌ	フクカエン	熊谷	
16 オリエンタル系ユリ	マーベル	新潟県花卉球根 農業協同組合	熊谷	
17 オリエンタル系ユリ	マレーロ	フクカエン	熊谷	
18 カラジウム	エンジェル	赤塚植物園	青海	廃番
19 カラジウム	ホワイトクリスマス	赤塚植物園	熊谷・青海	廃番
20 カラジウム	ローズパッド	赤塚植物園	青海	廃番
21 グラジオラス	祝典	花の大和	熊谷	
22 クルクマ	バルビフローラ	花の大和	熊谷	
23 クルクマ	ピンクキャンディ	花の大和	熊谷	
24 クルクマ	ピンクパール	花の大和	熊谷	
25 クルクマ	メーテンサンライズ	花の大和	熊谷	
26 ゼフィランサス	カリナータ	花の大和	熊谷	
27 ゼフィランサス	カンジダ	花の大和	熊谷	
28 ゼフィランサス	シトリナ	花の大和	熊谷	
29 ハブランサス	ロブスタス	花の大和	熊谷	
30 ユーコムス	アロハリリーレイア	花の大和	熊谷・青海	

取扱会社
実証場所

2018年12月現在
池袋：東京都豊島区
青海：東京都江東区
立川：東京都立川市
ドーム：東京都文京区
日比谷：東京都千代田区
千葉市：千葉県千葉市緑区
幕張：千葉県千葉市花見川区
熊谷：埼玉県熊谷市

※お台場おもてなしセレクション報告書（東京港埠頭㈱発行）の成果
も含まれます。廃番のものはカタログ落ちしたものです。

研究成果

補足資料1 【耐乾性による分類】

耐乾性は品種よりも品目の違いによる影響が大きく、同一品目では似たような傾向を示した。特に**イポメア、カンナ、ビンカ、ベゴニア**などは耐乾性が非常に強く、夏花として有望であると考えられた。

調査方法：灌水間隔を3、8、13日に設定し、枯れ程度を調査。さらに、断水してから完全枯死するまでの期間を調査し、これらの結果を総合的に判断し耐乾性を評価した。

品目名	品種名	枯れ指数 ^a			断水してから60日以上経過しても完全枯死しない	耐乾性 ^b 評価
		3	8	13		
アガスターシェ	ローズミント					△
アサガオ	サンスマイル ローズ				○	○
アンゲロニア	セレニータ ホワイト					△
イポメア	ソーラーパワー ブラック				○	◎
カンナ	トロピカル イエロー				○	◎
ケイトウ(セロシヤ)	サマーラベンダー					△
コリウス	ゴリラJr. ウォーターメロン					◎
サルビア	ボンファイヤー					×
ジニア(ヒャクニチソウ)	ザハラ イエロー					×
センニチコウ	ちなつ パープル					△
ツンベルギア	サニー					×
ナデシコ(ダイアンサス)	ジョルト ピンク				○	○
ニューギニアインパチエンス	サンパチエンス さくさくホワイト					×
パーベナ	タビアン ローズミント					△
ハゲイトウ	アーリースプレnder					×
ビンカ(ニチニチソウ)	バリエント ライラック					◎
ベゴニア	ワッパー レッドブロンズリーフ				○	◎
ペチュニア	サフィニアマックス グレープ					○
ペンタス	パナスカリ ピンク					○
ポーチュラカ	サンちゅうらか ローズ				○	◎
マツバボタン	ハッピーアワー ロジータ				○	◎
マリーゴールド	ホットバック オレンジ					△
メカルドニア	イエロークロサイト					○
メランポジウム	ミリオンゴールド					△
ユーフォルビア	グリッツ				○	◎

a) 灌水間隔をかえた区ごとに枯れ程度を指数化

0: 枯れなし、1: 枯れ面積1～25%、2: 枯れ面積26～50%、3: 枯れ面積51～99%、4: 完全枯死

指数の平均(n=3～4)が 0以上1未満 1以上2未満 2以上3未満 3以上4以下 で色分けした

b) 耐乾性の強弱で4段階に分類(◎>○>△>×)。評価は、灌水間隔13日の枯れ指数(◎ ○ △ ×)ただし、断水してから60日以上経過しても完全枯死しなかったものについては、1段階評価を上げている(例えば、ナデシコは枯れ指数では△だが、60日以上経過しても完全枯死しなかったため、○評価とした)



(a) ビンカ、(b) ジニア

注) 左から3日おきに灌水、8日おきに灌水、13日おきに灌水

補足資料2【耐陰性による分類】

耐陰性は品種よりも品目の違いによる影響が大きいが、植物によっては品種の影響もみられる。ニューギニアインパチェンス、ビンカ、ベゴニア、ユーフォルビアで強く、ダイアンサス、メカルドニアで弱い。

調査方法：終日および半日、日が当たる条件と、終日、日が当たらない条件で約1か月間、供試植物を処理し、生育と開花に与える影響を調査。それらを比較することで耐陰性を評価した。

品目	品種	一日遮光による 開花数への影響 (A)	午前遮光による 開花数への影響 (B)	午後遮光による 開花数への影響 (C)	開花に対する 遮光の影響 (D)	一日遮光による 生育への影響 (E)	耐陰性 ^a 評価
		○:50%以上 △:25%以上50%未満 ×:25%未満	○:75%以上 △:50%以上75%未満 ×:50%未満	○:75%以上 △:50%以上75%未満 ×:50%未満	(A)と、(B)および(C) の低い方との平均。た だし、平均が取れない 場合は評価の高い方	○:株張、株高ともに増加 △:株張、株高いずれか 同じか、増加 ×:株張、株高ともに減少	◎:(D)、(E)ともに○ ○:(D)が○ △:(D)が△ ×:(D)が× ××:(D)、(E)ともに×
アゲラタム	トップブルー	×	×	△	△	○	△
ケイトウ(セロシ)	サマーラベンダー	×	○	○	○	△	○
ジニア(ハクニチソウ)	ザハラ イエロー	△	×	△	△	×	△
ジニア(ハクニチソウ)	ザハラ ファイヤー	○	○	○	○	△	○
センニチコウ	ネオン ローズ	○	○	○	○	×	○
センニチコウ	ちなつ ホワイト	○	○	△	○	△	○
ナデシコ(ダイアンサス)	ジョルト ピンク	×	×	×	×	△	×
ナデシコ(ダイアンサス)	スーブラレッド	×	×	○	×	×	× ×
ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス オレンジ	○	○	○	○	○	◎
ニューギニアインパチェンス	サンパチェンス ホワイト	○	×	○	○	○	◎
ビンカ(ニチニチソウ)	サンダー レッド	○	△	○	○	○	◎
ビンカ(ニチニチソウ)	ソフレ ピンク	×	○	○	△	△	△
ビンカ(ニチニチソウ)	バリエント アプリコット	△	○	△	○	△	○
ベゴニア	ワッパ	○	×	○	○	○	◎
ベゴニア	ローズグリーンリーフ	○	×	○	○	○	◎
ベゴニア	ワッパ	○	×	○	○	○	◎
ベゴニア	レッドブロンズリーフ	○	×	○	○	○	◎
ペチュニア	サルサ クリームイエロー	○	○	○	○	△	○
ペチュニア	サルサ パープル	○	○	○	○	×	○
ペチュニア	サルサ レッド	×	○	○	△	×	△
ポーチュカ	サンちゅうら ローズ	△	△	○	△	△	△
メカルドニア	イエロークロサイト	×	×	×	×	△	×
メランポジウム	ミリオン ゴールド	○	○	△	○	×	○
メランポジウム	ジャックポット	○	○	△	○	×	○
ユーフォルビア	グラマー	○	○	○	○	○	◎

※1) 開花数への影響: 終日、日が当たる条件における開花数に対する各処理区の開花数の割合(%)

※2) 生育への影響: 株張、株高について、終日、日が当たる区と日が当たらない区の比較

a) 耐陰性評価: (D)の結果で主に評価したが、○および×については、生育への影響も加味し、さらに○→◎、×→××とした

ニューギニア
インパチェンス
「サンパチェンス
オレンジ」



メカルドニア
「イエロー
クロサイト」



終日日照区

午後遮光区

終日遮光区

◆ニューギニアインパチェンスでは終日遮光しても開花が維持されるが、メカルドニアでは半日遮光しただけでも開花数の減少が著しい。

補足資料3 【和の花アサガオの夏花としての利用】

わい性アサガオは、シェード（短日）処理で開花を促進することができる。開花は電灯（長日）の影響を強く受け、電灯の近くでは開花数が減少するため、利用に当たっては注意を要する。

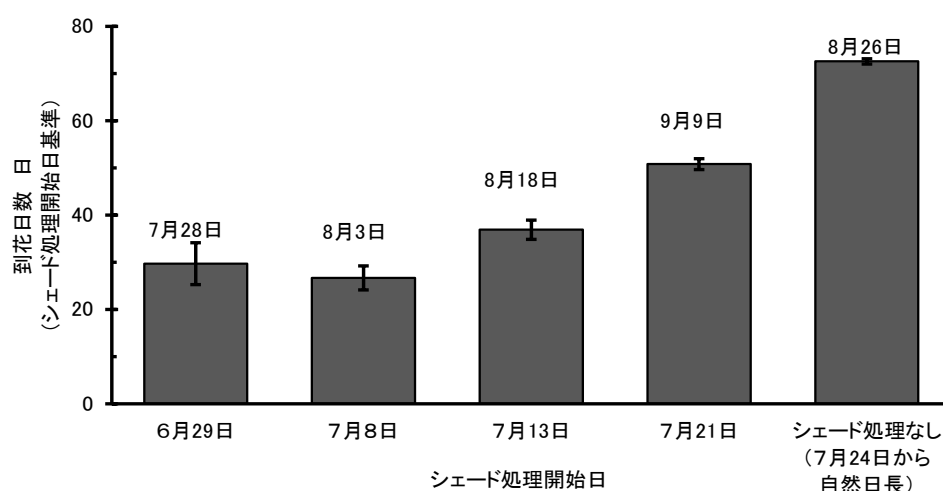
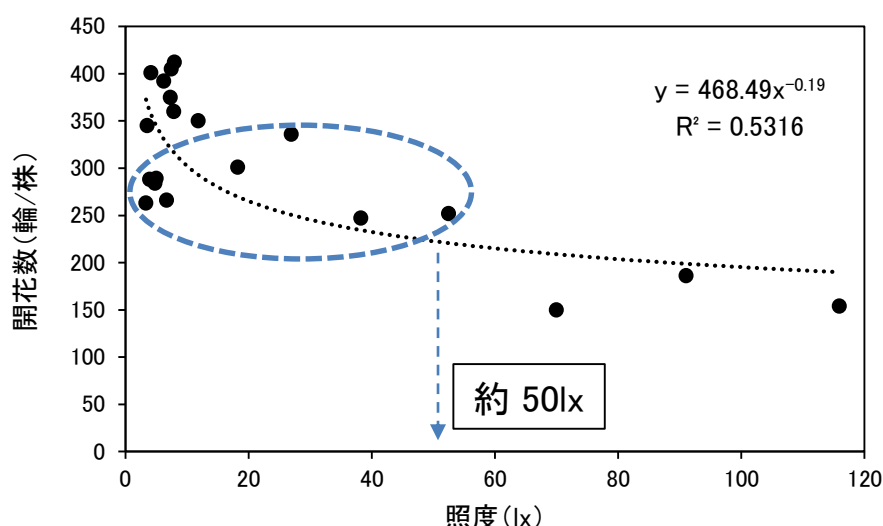


図1 シェード処理開始日が到花日数に及ぼす影響

◆ 到花日数はシェード処理で短縮し、シェード開始日6月29日と7月8日が最短で30日未満、処理が遅れるほど到花日数が増加した（図1）。



4月14日に播種したアサガオ「サンスマイル混合」を7月12日に、条間60cm、株間40cmで定植した。電灯はLED照明器具（E7032SA1、岩崎電気（株））を用い、高さ200cmに設置した（18:00-6:00照明）。開花数は定植約1か月後の8月11日から9月8日まで記録し、累計開花数を算出した。

図2 電灯がアサガオ「サンスマイルパープル」の累計開花数に及ぼす影響

◆ 電灯の照度が高いほどアサガオの開花数は減少し、観賞性に影響を与えない照度は50lx程度である（図2）。

補足資料4【活着促進技術】

花壇に植え付けたジニアの根の発達には土壌水分の影響を強く受ける。花壇植え付け直後に核酸入り肥料や腐植物質入り肥料を株元に灌注することで、灌水頻度が少ない場合でも根の発達が促進される。

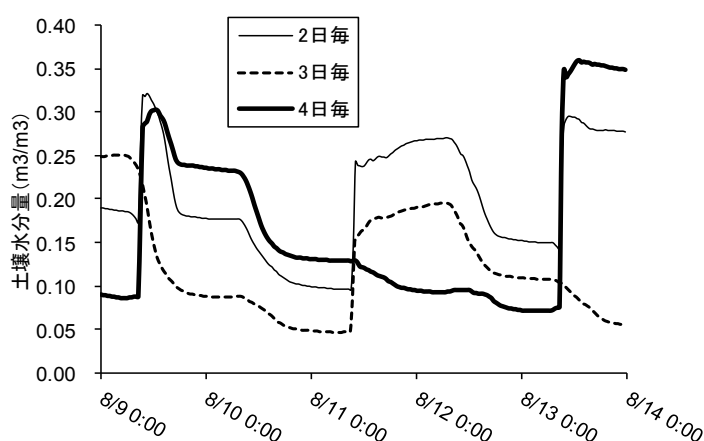


図1 灌水頻度の違いが土壌水分の推移に及ぼす影響



図2 灌水頻度の違いがジニア「プロフュージョン ダブルイエロー」の発根に及ぼす影響
注) 左から灌水頻度2日毎、3日毎、4日毎

- ◆ 灌水頻度を2日毎、3日毎、4日毎で比較すると、灌水頻度が少ない区ほど土壌水分量の少ない期間が長くなる（図1）
- ◆ 大型鉢に植え付けた10日後のジニア苗の根量は灌水頻度が少ない区ほど少ない（図2）

表1 肥料成分の違いがジニア「プロフュージョン ダブルイエロー」の植え付け10日後の生育に及ぼす影響

肥料	灌水頻度							
	2日毎				4日毎			
	草丈 (cm)	株幅 (cm)	乾物重(g/株)		草丈 (cm)	株幅 (cm)	乾物重(g/株)	
			地上部	地下部			地上部	地下部
核酸入り肥料	21.8	25.4	7.99	0.29	19.8	23.4	6.56	0.21
腐植物質入り肥料	19.6	25.6	8.08	0.37	19.4	22.9	6.34	0.23
化成肥料	20.0	26.4	8.31	0.38	19.3	24.0	6.34	0.13

注1) 2016年8月5日に3号ポット苗を6号ポットに植え付け、8月15日に調査を行った

2) 肥料: 各剤は規定の倍率に希釈して植え付け時に500ml/株灌注処理した

化成肥料区は各剤と窒素成分で同等に希釈したハイポネックス原液(6-10-5)を灌注処理した

3) 地下部乾物重は植え付け後に根鉢の外部へ伸長した根を回収して測定した

- ◆ ジニアは植え付け時に核酸入り肥料や腐植物質入り肥料を株元に処理すると、灌水頻度が4日毎の場合において、化成肥料に比べて植え付け後に伸長する根の乾物重が増加する（表1）。

補足資料5【つる植物の長尺化】

つる性植物を生産段階でネットに誘引し、成長させておく（**長尺化する**）ことで、定植から**グリーンカーテン完成までの期間を通常より3週間程度短縮**できる。



2016/6/17(定植時)



約1か月後



2016/7/14
左:長尺、右:短尺

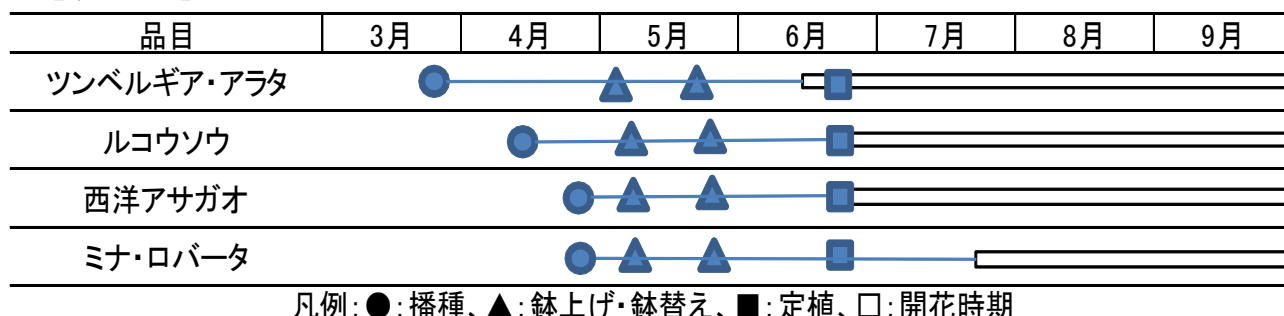
【入手規格】

通常では**長尺の生産は行われていないので、受注生産**となる。プランターに植えられて、幅1m程度のネットにつるが巻きついた状態（草丈1.5～1.8m程度）で入手する。受注生産であればプランターの種類やネットの幅・長さはある程度変更が可能である。**輸送時はロール化**し、コンパクトな状態で輸送される。

【効果的な使用方法と留意点】

- 素早くグリーンカーテンの完成が求められる現場に適する。長尺化するため早期に播種するので、同時期に定植した**短尺苗よりも早く開花**し、観賞期を迎えることができる。
- 輸送により傷みやすいので、**入手後直ちに開封**して定植する。
- 定植直後は**水切れに注意**する。自動灌水装置の設置が望ましい。
- 入手後は**1か月に1回程度、緩効性肥料を用いて追肥**する。追肥は1回あたり窒素成分で1g/株程度を目安に、草勢を見て行う。

【栽培歴】



補足資料6 【高冷地育苗等による開花促進技術】

夏に和の風情のある鉢花を提供するため、**ポットマム**や**リンドウ**について高冷地育苗やヒートポンプによる**夜冷育苗**行くと、**開花を早め花色を鮮やかに**することができる。

ポットマム「エクセレントマム ピコ オレンジ」

表1 高冷地育苗が開花に及ぼす影響

処理区	短日処理 (月/日)	高冷地育苗 (月/日)	開花日 (月/日)
慣行	6/22～	—	8/23
高冷地育苗	6/22～	7/6～	8/ 8
慣行	8/ 4～	—	9/28
高冷地育苗	8/ 4～	8/4～	9/ 8

表2 夜冷育苗が開花に及ぼす影響

処理区	短日処理 (月/日)	夜冷育苗 (月/日)	開花日 (月/日)
慣行	6/22～	—	8/17
夜冷育苗	6/22～	6/22～	7/27
慣行	8/ 4～	—	9/26
夜冷育苗	8/ 4～	8/4～	9/12



図1 ポットマム
左:慣行 右:夜冷育苗

◆ 短日処理期間中に高冷地育苗や夜冷育苗を行えば、**開花を2週間以上前進化**させ、桃、橙、赤などの**花色を濃く**する（表1、表2、図1）。慣行の栽培と組み合わせ、**7～9月までの開花が可能**である。

リンドウ「ホタカ」

表3 高冷地、及び夜冷育苗が開花と日持ちに及ぼす影響

処理区	開花日 (月/日)
慣行	8/22
高冷地育苗	8/ 8
夜冷育苗	8/ 8

7月上旬より、高冷地育苗、あるいは夜冷育苗を開始



図2 リンドウ
左:慣行 右:夜冷育苗

◆ 高冷地育苗や夜冷育苗は**開花を2週間ほど前進化**させ、**青の花色を鮮明**にする（表3、図2）。挿し木の時期を変えることにより**7月下旬～9月までの開花が可能**である。

補足資料7【ユリを目的の時期に開花させる方法】

LA系はオリエンタル（OH）系よりも開花が早く、品種や定植時期が開花の早晩に及ぼす影響は小さい。品種を選び夏における到花日数を考慮して植え付けることで、目的とする時期に開花させることができる。

調査方法：種々のユリ品種について、15℃で芽伸ばしを行った後に定植し、開花と日持ちに及ぼす影響を調べた。花序の第一花から全花がしおれるまでの期間を日持ちとし、花被片のシミや奇形がなく全花が開花した花序を正常開花とした。

表1 高温期におけるユリの開花

品種	種類	開花日 (月/日)	萎凋日 (月/日)	日持ち (日)	正常開花率 (%)
アルブфейラ	LA	7/21	7/29	7.6	96.7
インディアンダイヤモンド	LA	7/19	7/28	8.4	100.0
クープレット	LA	7/20	7/30	10.4	100.0
セナ	LA	7/18	7/26	8.1	37.9
チェーザレ	LA	7/21	7/31	10.1	100.0
シーラ	OH	8/10	8/20	10.2	100.0
ソルボンヌ	OH	8/1	8/13	11.3	90.0
マーベル	OH	7/31	8/12	11.3	100.0
マレーロ	OH	8/8	8/20	12.1	100.0
レクサス	OH	8/3	8/14	11.3	0.0
バルベルデ	OT	8/1	8/10	9.6	100.0

5/23から15℃で芽伸ばしした後、6/1に定植

表2 高温期における定植日の違いがユリの開花に及ぼす影響

品種	種類	仮植日 (月/日)	定植日 (月/日)	開花日 (月/日)	萎凋日 (月/日)	日持ち (日)	正常開花率 (%)
アルバタックス	LA	4/25	5/11	7/7	7/15	8.6	100
		5/16	5/25	7/11	7/23	11.3	100
エマニー	OH	4/25	5/11	7/12	7/25	13.6	100
		5/16	5/25	7/24	8/7	14.6	100

15℃で芽伸ばしした後定植



図1 夏花壇への植栽状況

注1) LA系：胚培養の技術によって育成されたテッポウユリとスカシユリの交雑種

注2) オリエンタル（OH）系：ヤマユリやカノコユリなど、極東に自生する種をもとに育成された品種群

注3) 芽伸ばし処理：球根を湿らせたおがくずの中で冷蔵庫におき、芽を伸ばしてから植え品質を高める処理（夏季の植え付けには、12℃で2週間程度行い、10cmくらいの芽の長さにする）

補足資料8 【花壇を長く彩るユリの植栽方法】

LA系とオリエンタル（OH）系の品種を組み合わせで植え、開花期が重ならないよう連続して開花させることで、7月中旬～8月下旬まで花壇を彩ることができる。

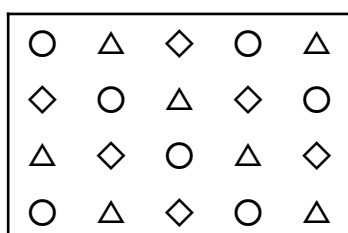


図1 植栽図

○: 品種1, △: 品種2, ◇: 品種3



図2 8月6日の開花状況
注)「イエローダイヤモンド」の開花が終わり、「ソルボンヌ」が開花している。その後、「シベリア」の開花が始まる。

花壇 No.	種類	品種	月 7							8																																								
			日	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	LA	イエローダイヤモンド																																																
	LA	クーリア																																																
	LA	アルパタックス																																																
2	LA	イエローダイヤモンド																																																
	LA	アルパタックス																																																
	OH	シベリア																																																
3	LA	イエローダイヤモンド																																																
	OH	ソルボンヌ																																																
	OH	シベリア																																																
4	OH	コンパニオン																																																
	OH	ソルボンヌ																																																
	OH	シベリア																																																

図3 夏季の花壇におけるユリの観賞期間



◆ ユリを3品種組み合わせで、10℃で2週間ほど芽伸ばしを行った後、6月7日に20cmの間隔で、20球の球根を花壇に植えた。「イエローダイヤモンド」（LA）から「ソルボンヌ」（OH）をえて「シベリア」（OH）まで、花壇（No.3）では開花が継続した（図2、図3）。

補足資料9【ゼフィランサス類の開花時期】

ゼフィランサスやハブランサスは、品種を選定すれば7～9月にかけて継続して開花させることが可能である。また、植え付けた当年より植え付けた翌年に、開花数が著しく増加する。

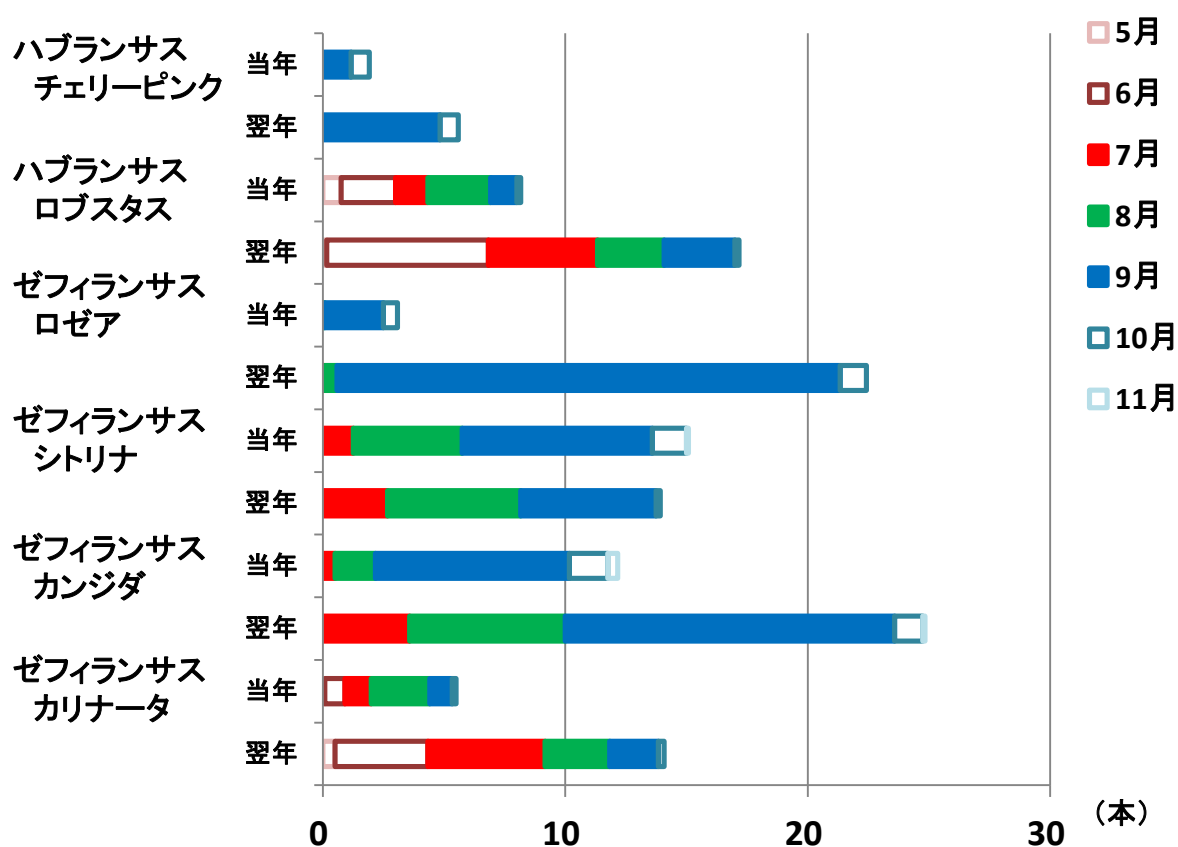


図1 ゼフィランサスとハブランサスの植え付けた当年と翌年における鉢あたりの開花した花序の数

◆ 3月上旬、及び前年の5月上旬に、球根を4号ポリポットに5球ずつ植え付け、ポットあたりに開花した花序数を調べた。ゼフィランサスの「カリナータ」、「カンジダ」、「シトリナ」とハブランサスの「ロブスタス」では7～9月にかけて開花が継続した（図1）。多くの種で、植え付けた当年より翌年に2倍以上に開花数が増加した。

夏花の活用事例



池袋サンシャインシティ



日比谷公園



日比谷公園



幕張新都心



熊谷スポーツ文化公園



夢の島公園



武蔵野公園



シンボルプロムナード公園

研究グループ

実施機関（順不同）

公益財団法人東京都農林水産振興財団

東京都農林総合研究センター

千葉県農林総合研究センター

埼玉県農業技術研究センター

協力機関（順不同）

東京港埠頭(株)

(株)お花がかり

東京都花卉園芸連合会

千葉県鉢花生産者連絡協議会

埼玉県花き園芸組合連合会

(株)エム・アンド・ビー・フローラ

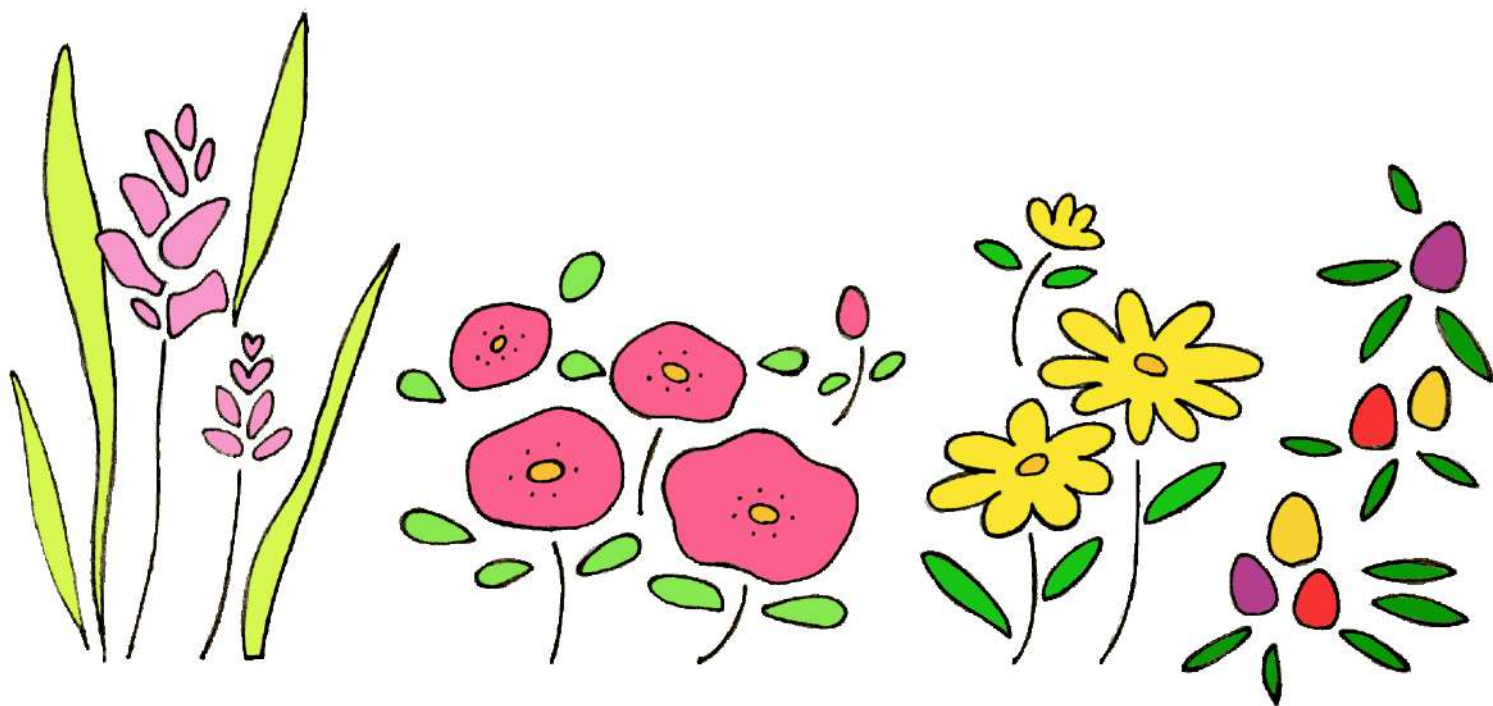
タキイ種苗(株)

(株)サカタのタネ

(株)フラワーオークションジャパン

(株)東日本板橋花き

本マニュアルは、農水委託プロジェクト研究「国産花きの国際競争力強化のための技術開発」で実施した（プロジェクト総括：農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門、研究実施期間（予定）：H27～H31）。



連絡先

東京都農林総合研究センター 園芸技術科
花き研究チーム 担当 岡澤立夫

〒190-0013
東京都立川市富士見町 3-8-1
TEL : 042-528-0664
FAX : 042-523-4285

平成30年12月 第3版発行